

令和6年度教職員の休憩時間及び持ち帰り仕事等の実態調査結果について

1 調査の概要

(1) 目的

教職員の働き方改革における効果的な方策立案等に資するため

(2) 対象校

令和5年度調査を実施した市町村立小学校20校及び中学校10校、県立高等学校6校及び特別支援学校2校の計38校（抽出）

(3) 対象者・回答数（単位：人）

総回答数1,016名（※ 常勤かつ本務職員に限る。一部無効回答有）

[職種別有効回答数]

校長	副校長 ・教頭	主幹 教諭	教諭 ・講師	養護 教諭 (含助)	栄養 教諭 ・学校 栄養士	事務リーダー ・事務主幹 ・主任・主事 (主任)	寄宿舎 指導員 (主任・ 期付)	実習 助手 (主任・ 期付)	計
35	43	13	781	47	8	42	24	18	1,011

(4) 主な調査内容

- ・ ワーク・ライフ・バランスに係る意識
- ・ 勤務日5日間の休憩時間の状況
- ・ 週休日を含めた1週間の持ち帰り仕事の状況
- ・ 学校での働き方改革の取組状況（新規）
- ・ 教職員の仕事のやりがい（新規）

(5) 調査方法

令和6年9月から11月の間、各対象校で任意に定めた1週間における上記(4)の実態を、教職員が個別に、所定の調査様式に記入する形式

2 時間外勤務時間と持ち帰り仕事時間の状況について

(1) 時間外勤務時間と持ち帰り仕事時間

① 平均時間（分／日）

	時間外勤務時間		持ち帰り仕事時間	計
		うち部活動		
小学校	78.3分	0.1分	23.9分	102.2分
中学校	99.2分	33.5分	20.2分	119.4分
高等学校	122.9分	56.2分	18.3分	141.2分
特別支援学校	44.2分	0.2分	18.5分	62.7分
全校種	83.9分	19.7分	20.5分	104.4分

※ 調査期間1週間の状況により算出

② 平均時間（時間／月）

	時間外勤務時間	持ち帰り仕事時間	計
小学校	39.8時間	12.1時間	51.9時間
中学校	50.4時間	10.3時間	60.7時間
高等学校	62.5時間	9.3時間	71.8時間
特別支援学校	22.5時間	9.4時間	31.9時間
全校種	42.6時間	10.4時間	53.0時間

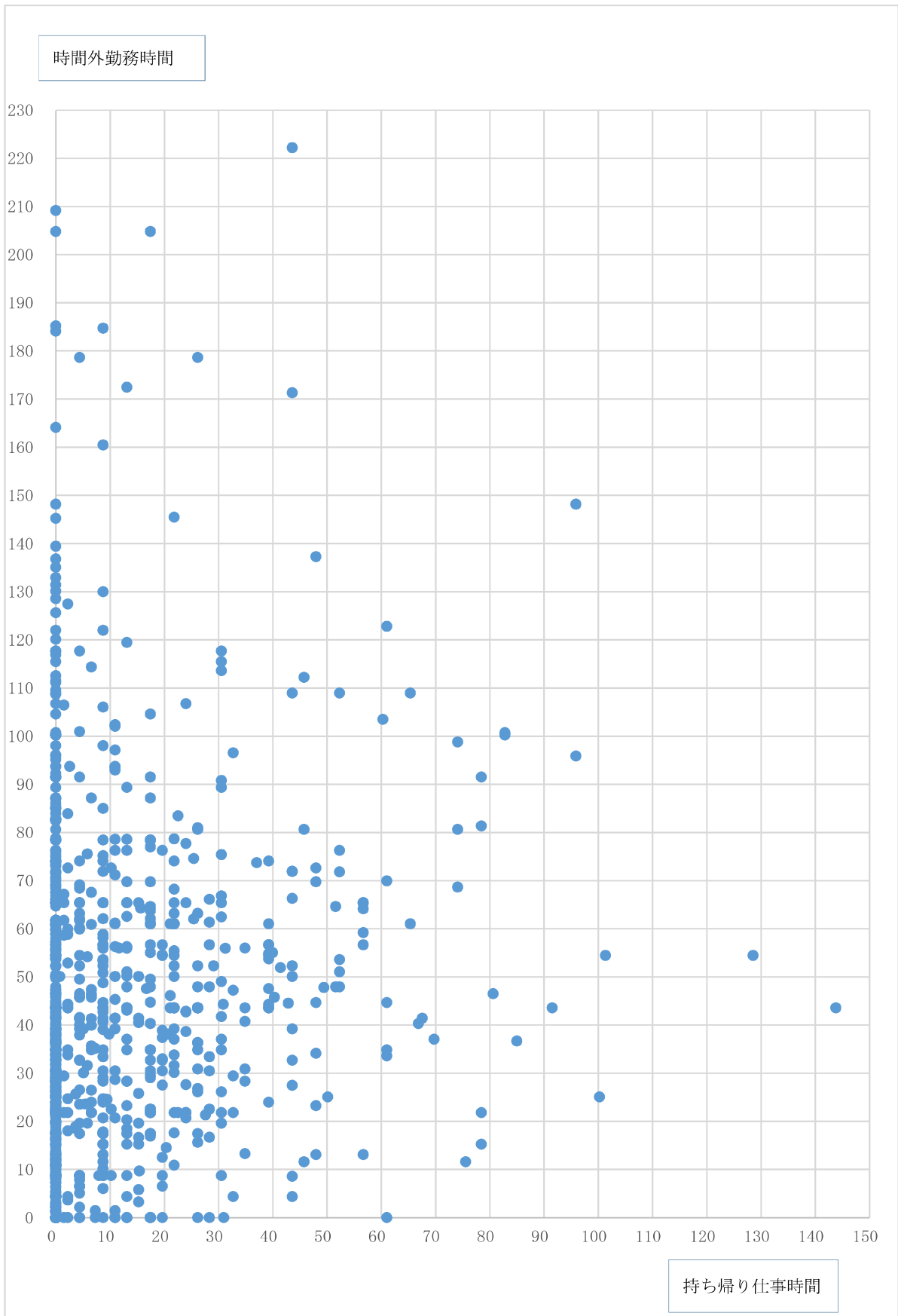
※ ①の平均時間（分／日）から1箇月の時間を試算

③ 1週間の時間外勤務と持ち帰り仕事の区分による人数割合

		持ち帰り仕事時間（週）					計
		していない	3時間 30分未満	3時間30分以 上7時間未満	7時間以上 14時間未満	14時間 以上	
時間外 勤務 時間 （週）	していない	8.5%	1.0%	0.6%	0.1%	0.1%	10.2%
	5時間未満	11.1%	4.0%	2.0%	0.9%	0.2%	18.2%
	5時間以上 10時間未満	16.3%	5.5%	4.4%	1.7%	0.8%	28.7%
	10時間以上 15時間未満	7.6%	5.5%	4.2%	3.3%	0.7%	21.2%
	15時間以上	10.2%	5.1%	2.4%	2.8%	1.2%	21.7%
	計	53.7%	21.0%	13.5%	8.8%	3.0%	100.0%

※ 計数については、それぞれ四捨五入によっているため、合計等と一致しないものがある。

(2) 時間外勤務時間と持ち帰り仕事時間の散布図（時間／月）

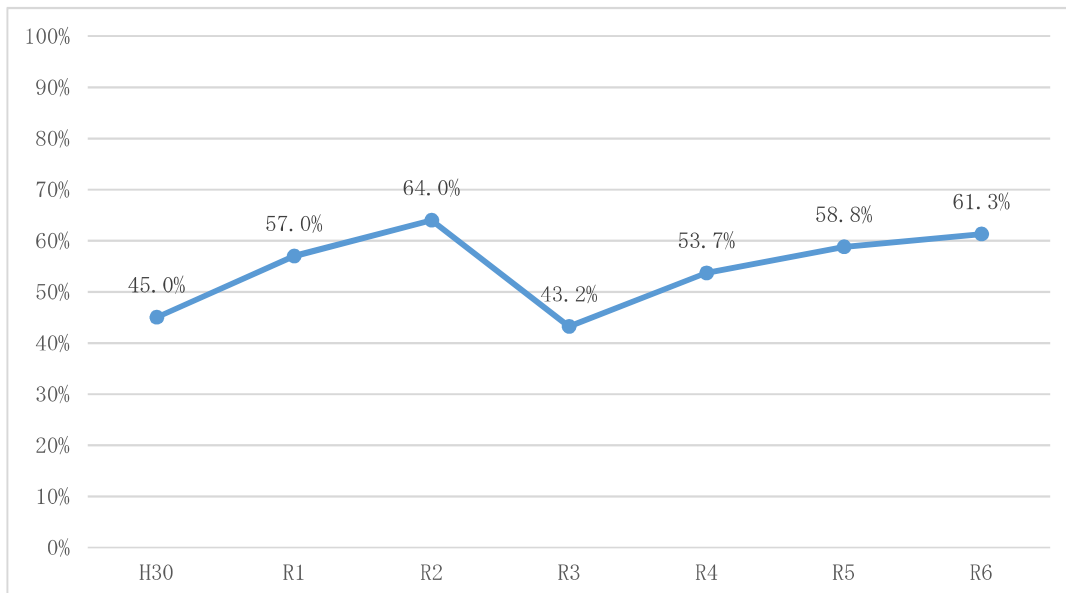


3 ワーク・ライフ・バランスに係る意識

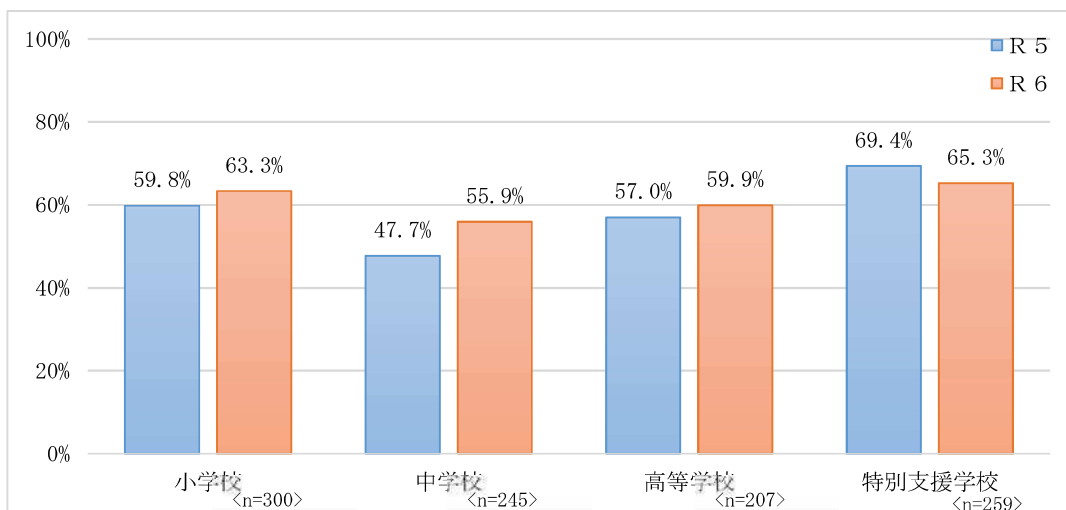
(1) ワーク・ライフ・バランスの肯定的回答※

※ 「肯定的回答」は、ワーク・ライフ・バランスが「取れている」又は「どちらかという
と取れている」という回答を合わせた数

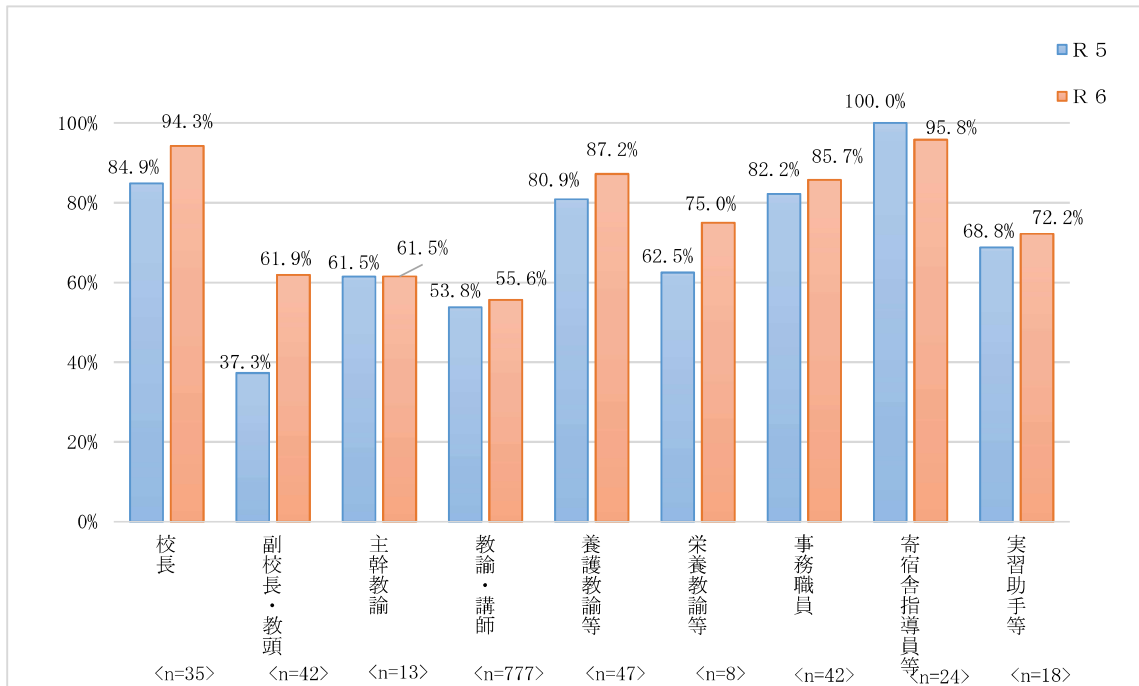
① 全校種



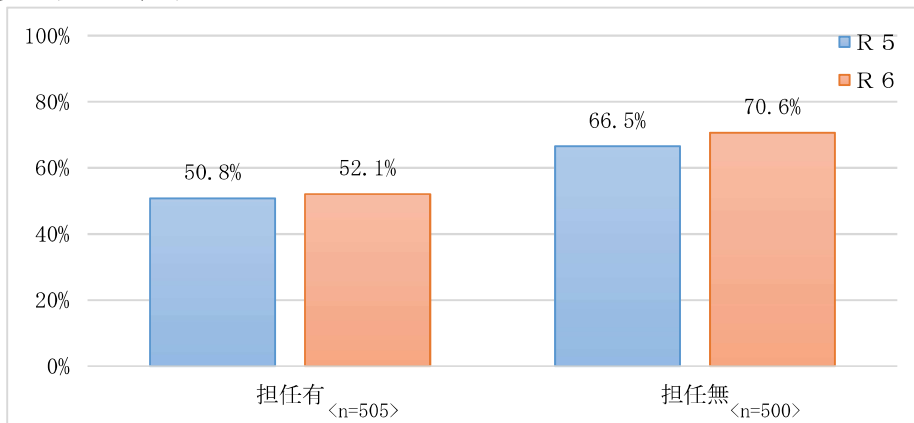
② 校種別



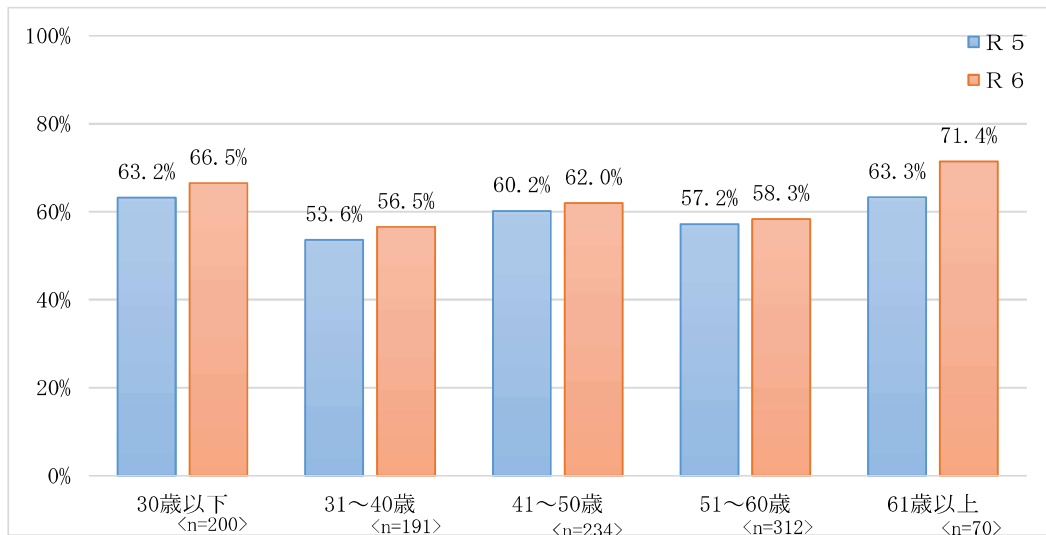
③ 職別



④ 学級担任有無別



⑤ 年代別



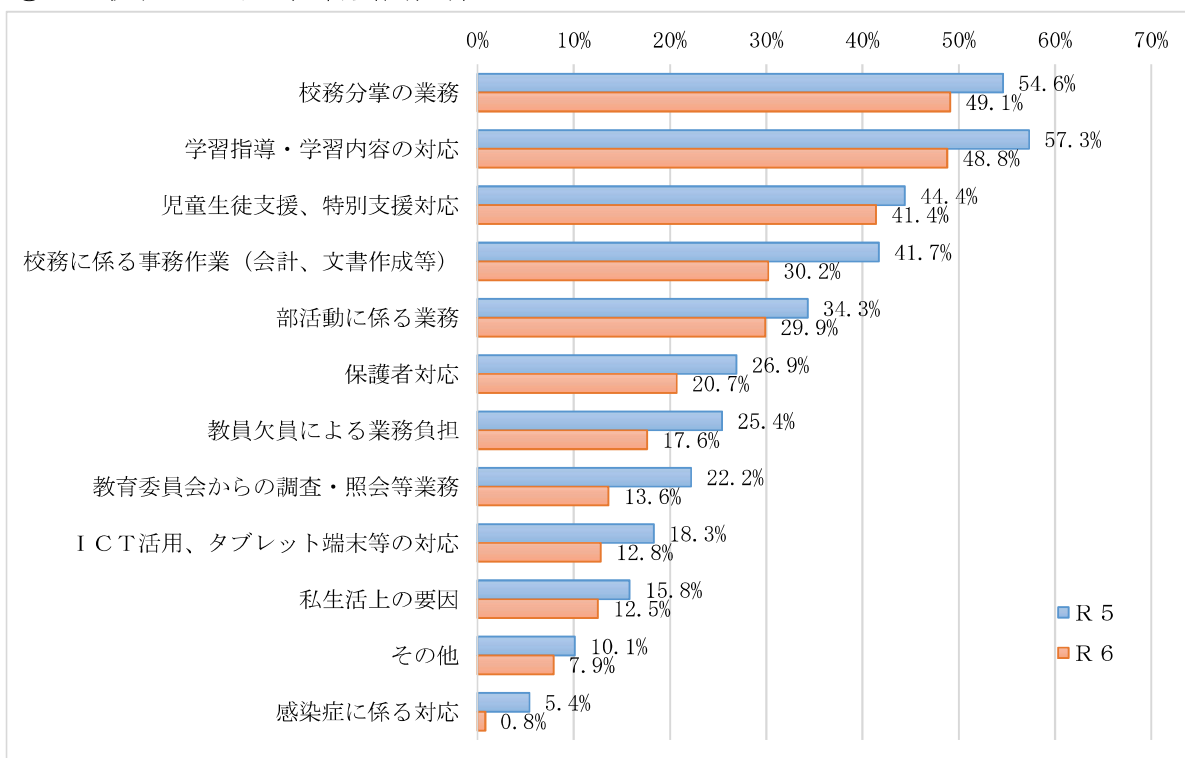
(2) ワーク・ライフ・バランスの阻害要因（全校種、校種別）

ワーク・ライフ・バランスが「どちらかというと取れていない」又は「取れていない」と回答した者（R 6:391 人）において、その阻害要因を尋ねた（複数回答可）。

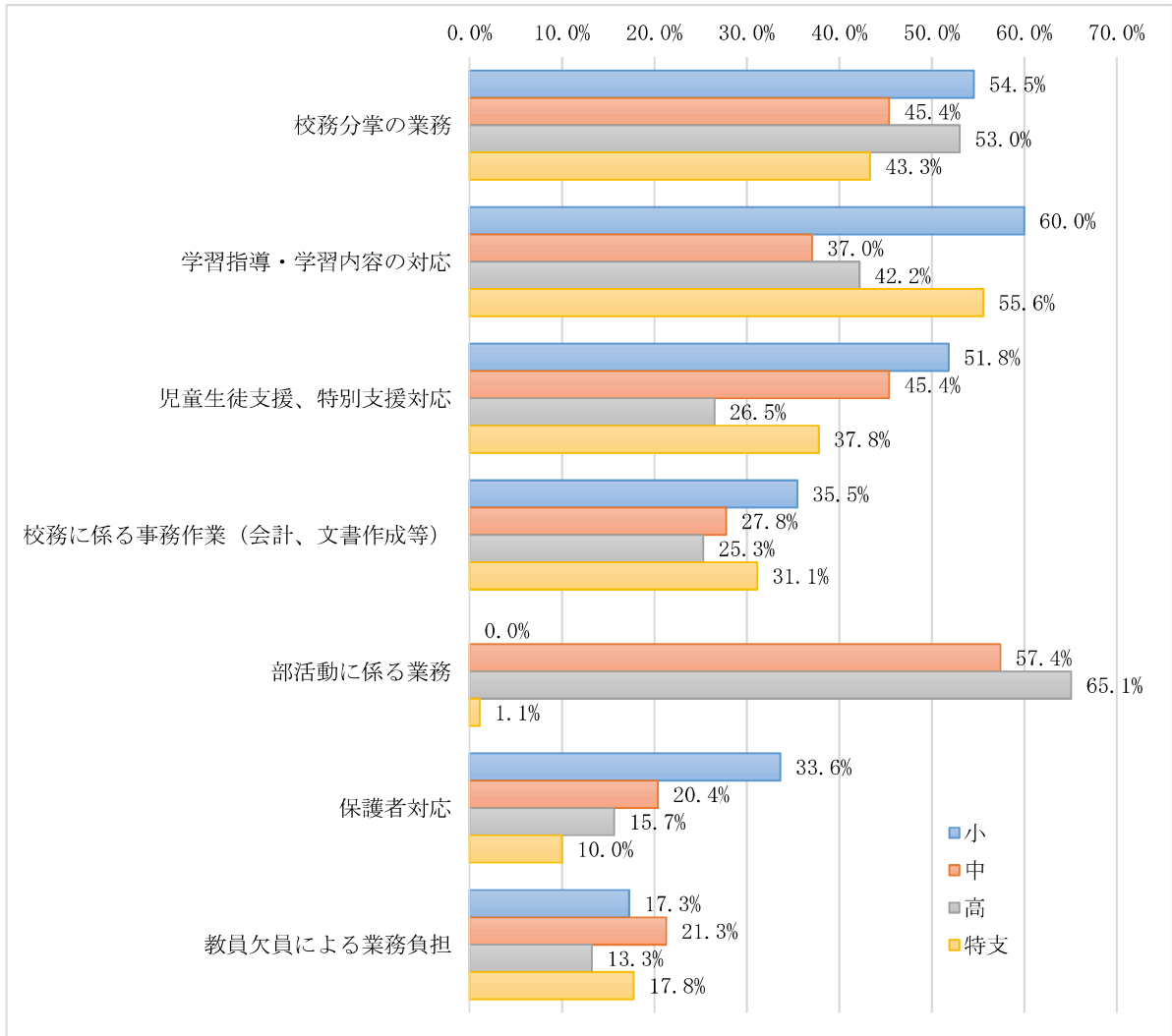
要 因	全校種割合		R 6 校種別（上位 5 位）			
	R 5	R 6	小学校	中学校	高等 学校	特別支 援学校
校務分掌の業務	②54.6%	①49.1%	②54.5%	②45.4%	②53.0%	②43.3%
学習指導・学習内容の対応	①57.3%	②48.8%	①60.0%	④37.0%	③42.2%	①55.6%
児童生徒支援、特別支援対応	③44.4%	③41.4%	③51.8%	②45.4%	④26.5%	③37.8%
校務に係る事務作業（会計、文書作成等）	④41.7%	④30.2%	④35.5%	⑤27.8%	⑤25.3%	④31.1%
部活動に係る業務	⑤34.3%	⑤29.9%		①57.4%	①65.1%	
保護者対応	⑥26.9%	⑥20.7%	⑤33.6%			
教員欠員による業務負担	⑦25.4%	⑦17.6%				⑤17.8%
教育委員会からの調査・照会等業務	⑧22.2%	⑧13.6%				
ICT活用、タブレット端末等の対応	⑨18.3%	⑨12.8%				
私生活上の要因	⑩15.8%	⑩12.5%				
その他	⑪10.1%	⑪ 7.9%				
感染症に係る対応	⑫ 5.4%	⑫ 0.8%				

(注) 丸数字は、全校種又は当該校種での順位

① 全校種における阻害要因割合



② 校種別阻害要因割合（校種別上位5位）

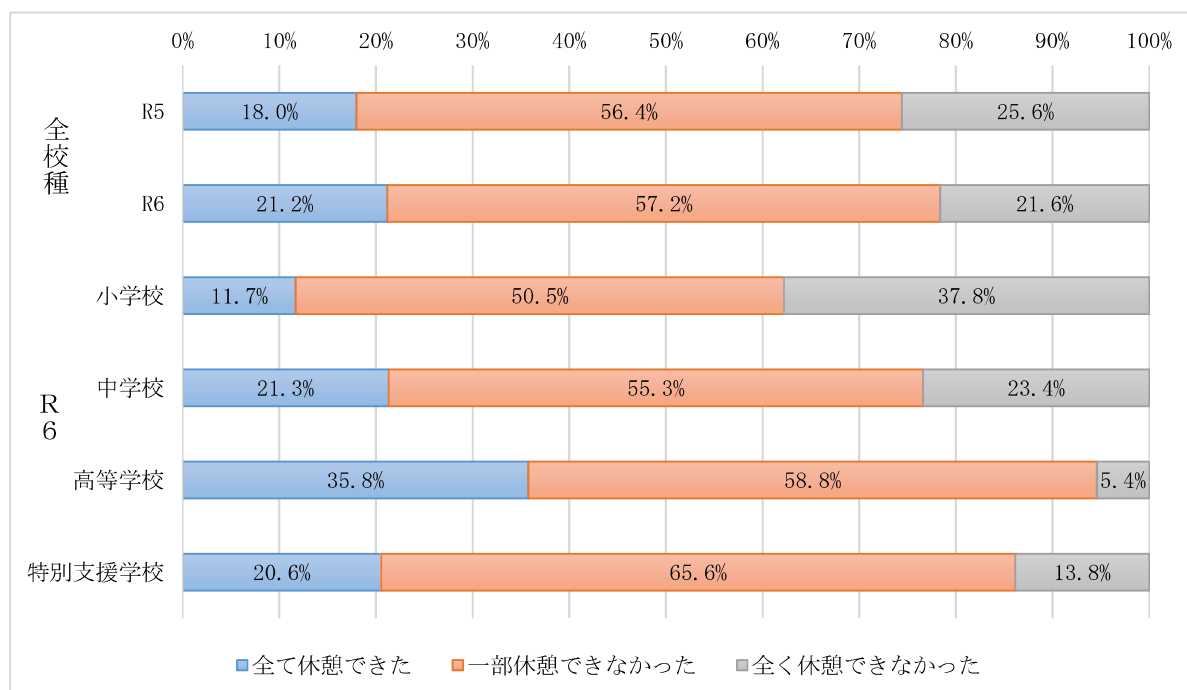


4 休憩時間の状況について

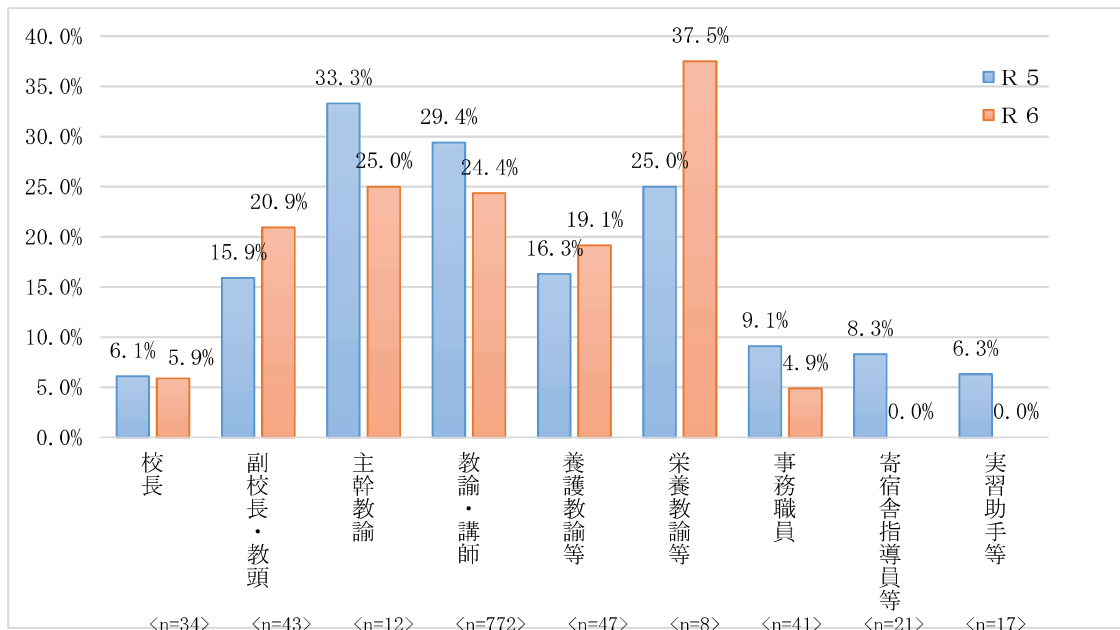
- ・ 休憩時間の割振りは、教職員の服務監督権者である教育委員会（例：県立学校の場合は県教育委員会）に権限があるが、多くの場合、教職員を直接監督する校長への委任・専決事項となっており、学校によって設定している時間帯は異なる。

(1) 全校種、校種別の休憩時間の取得状況

勤務日(5日)の 休憩の状況	全校種		校種別				R 5 全校種 割合
	人数	割合	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	
全て休憩できた	212	21.2%	11.7%	21.3%	35.8%	20.6%	18.0%
一部休憩できなかった	572	57.2%	50.5%	55.3%	58.8%	65.6%	56.4%
全く休憩できなかった	216	21.6%	37.8%	23.4%	5.4%	13.8%	25.6%
計	1,000	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



(2) 5日間ともに「全く休憩できなかった」と回答した職別の割合



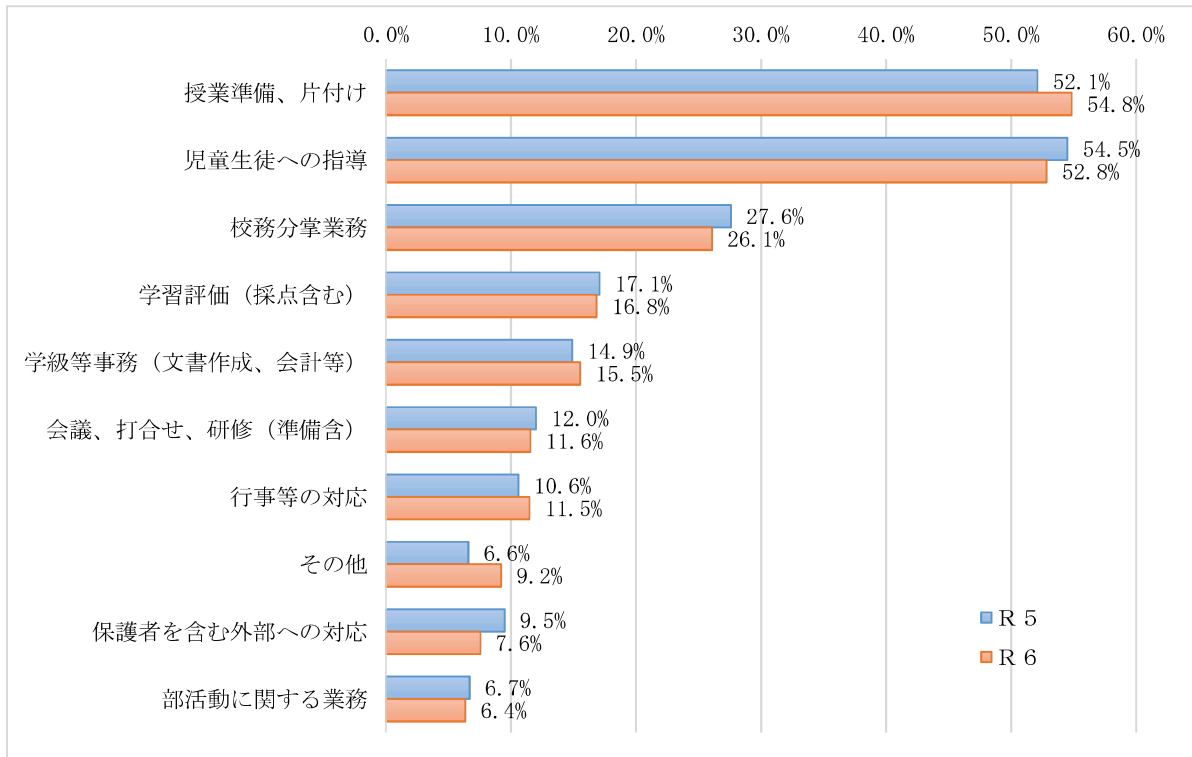
(3) 休憩ができなかった理由（複数回答可）

理由	全校種割合		校種別校種別（上位5位）			
	R 5	R 6	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
授業準備、片付け	②52.1%	①54.8%	①60.9%	②51.2%	①58.4%	②47.4%
児童生徒への指導	①54.5%	②52.8%	②57.6%	①47.3%	②41.0%	①58.7%
校務分掌業務	③27.6%	③26.1%	④26.5%	③34.0%	③28.2%	④15.8%
学習評価（採点含）	④17.1%	④16.8%	③30.5%	④16.7%		
学級等事務（文書作成、会計等）	⑤14.9%	⑤15.5%		⑤16.3%		③18.7%
会議、打合せ、研修（準備含）	⑥12.0%	⑥11.6%	⑤16.0%		⑤10.5%	
行事等の対応	⑦10.6%	⑦11.5%				
その他	⑩ 6.6%	⑧ 9.2%				⑤ 9.8%
保護者を含む外部への対応	⑧ 9.5%	⑨ 7.6%				
部活動に関する業務	⑨ 6.7%	⑩ 6.4%			④17.7%	

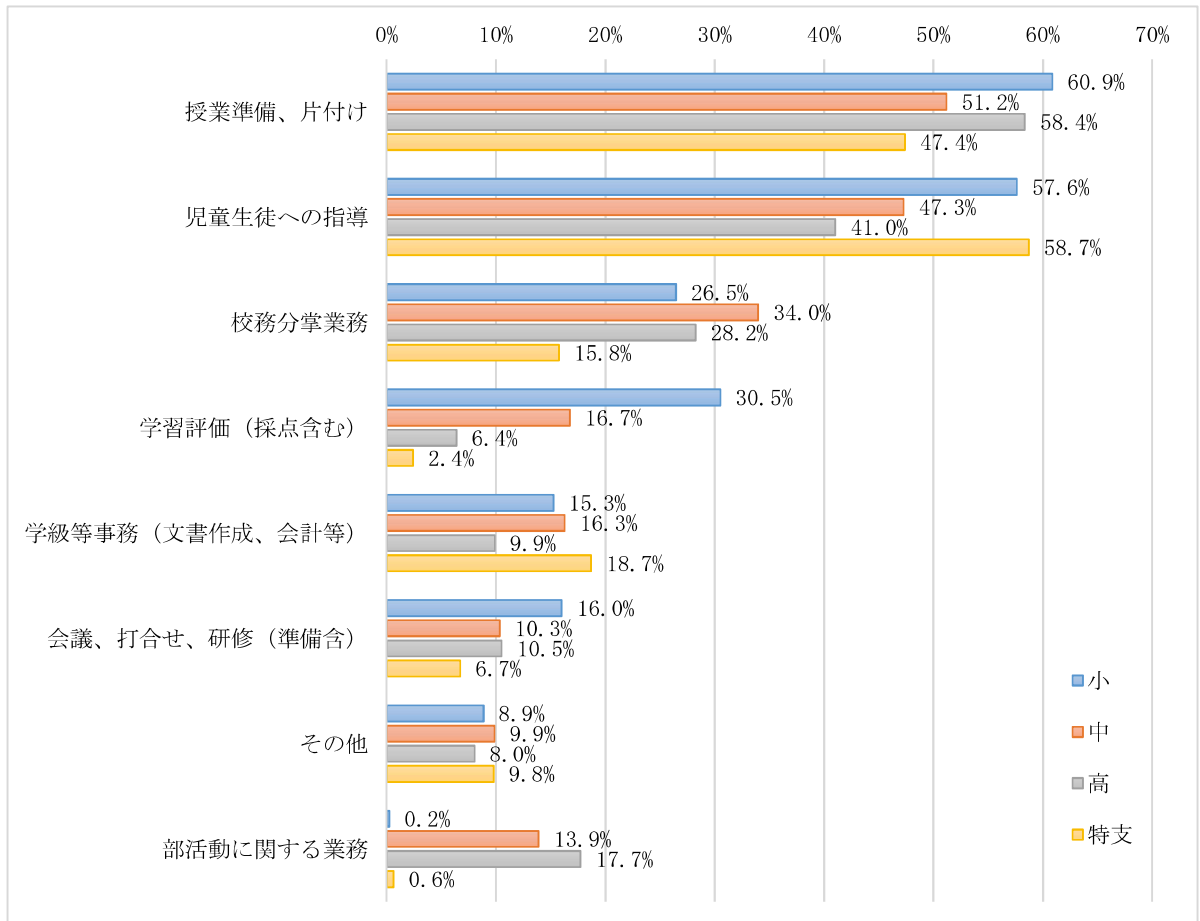
(注) 「丸数字」は、全校種又は当該校種での順位

- ・ 休憩ができなかった理由については、半数以上の教職員が「授業準備、片付け」「児童生徒への指導」をあげている。
- ・ 児童生徒への指導の割合が高い、小学校・特別支援学校については、児童生徒が学校にいる間は休憩を取りにくい状況が見られる。

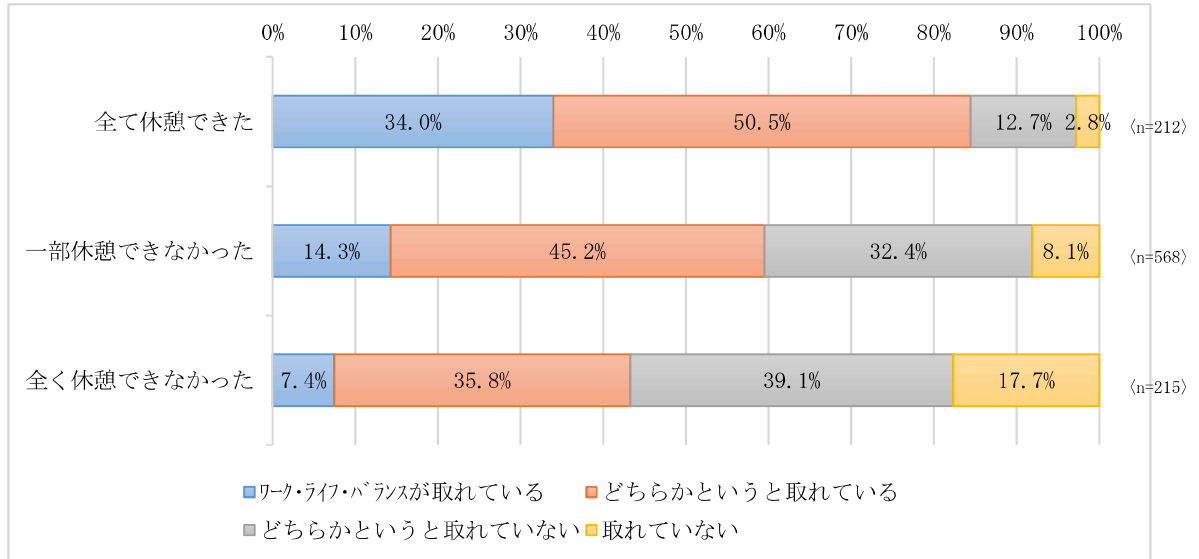
① 全校種における休憩できなかった理由



② 校種別休憩できなかった理由（校種別上位5位）



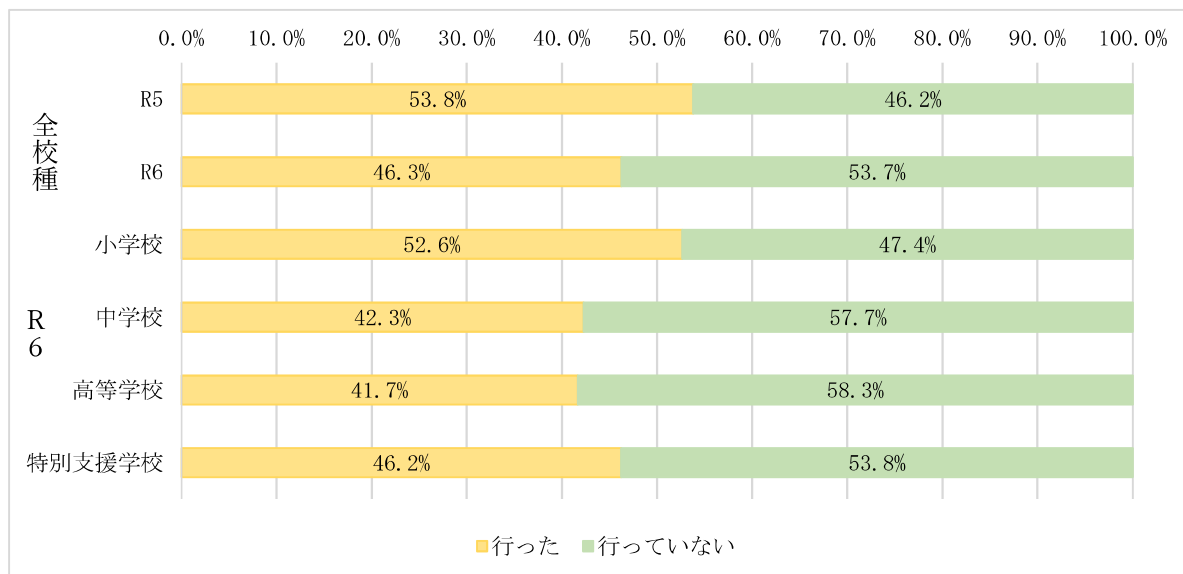
(4) 休憩時間の取得状況とワーク・ライフ・バランスとの関係



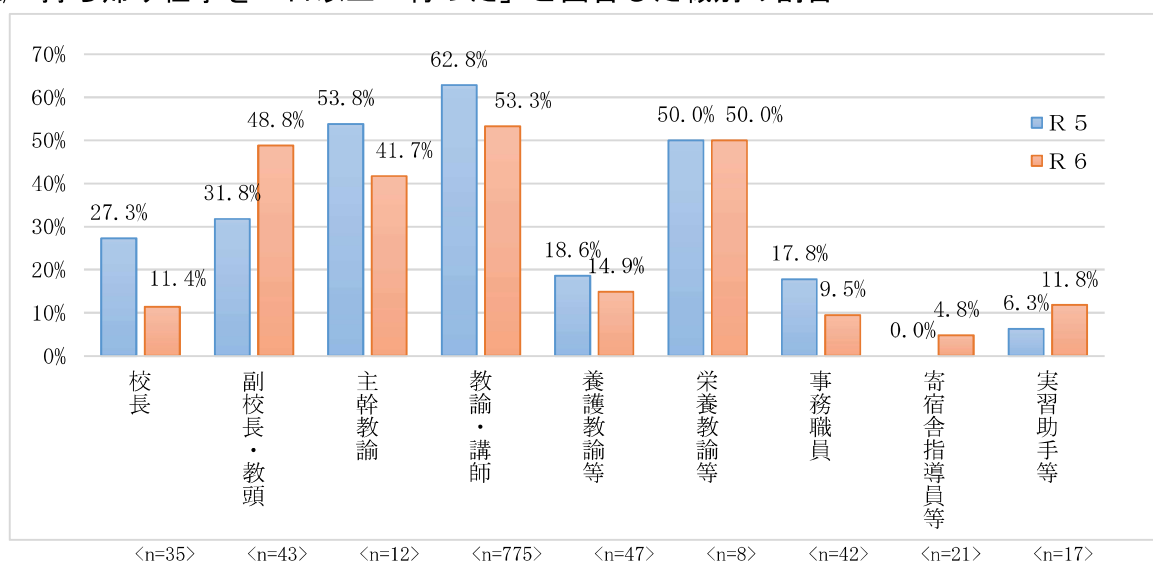
5 持ち帰り仕事の状況について

(1) 全校種、校種別の持ち帰り仕事の有無

7日間における 1日以上を持ち帰り 仕事の実施状況	全校種		校種別				R5 全校種 割合
	人数	割合	小学校	中学校	高等学校	特別支 援学校	
行った	465	46.3%	52.6%	42.3%	41.7%	46.2%	53.8%
行っていない	540	53.7%	47.4%	57.7%	58.3%	53.8%	46.2%
計	1,005	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

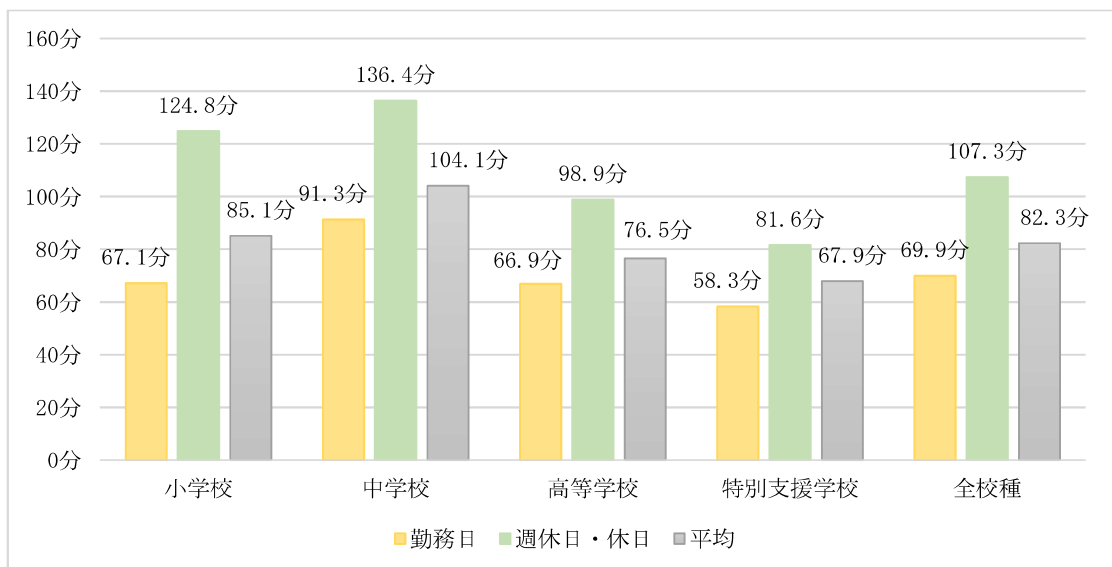
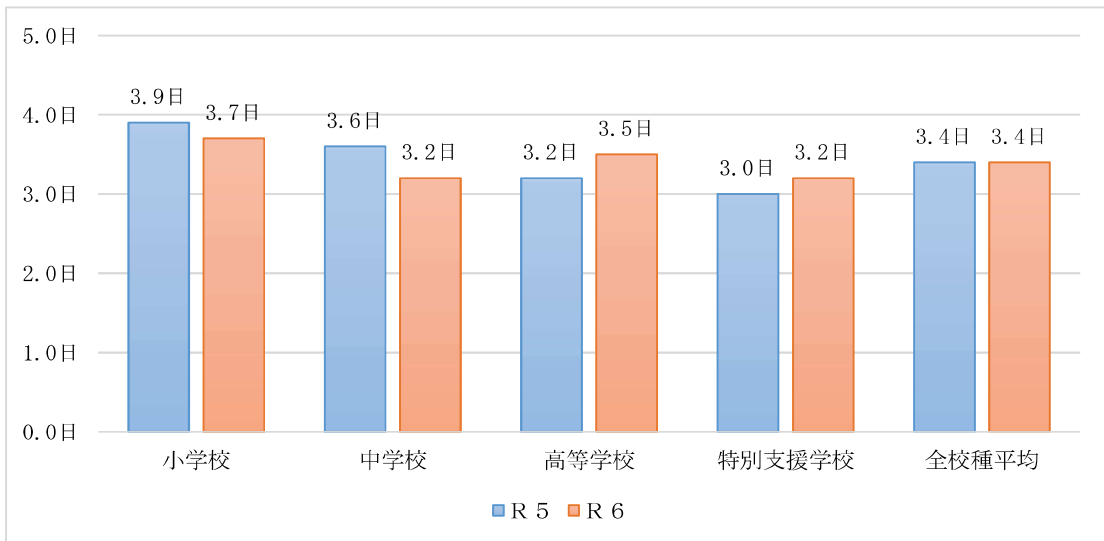


(2) 持ち帰り仕事を1日以上「行った」と回答した職別の割合

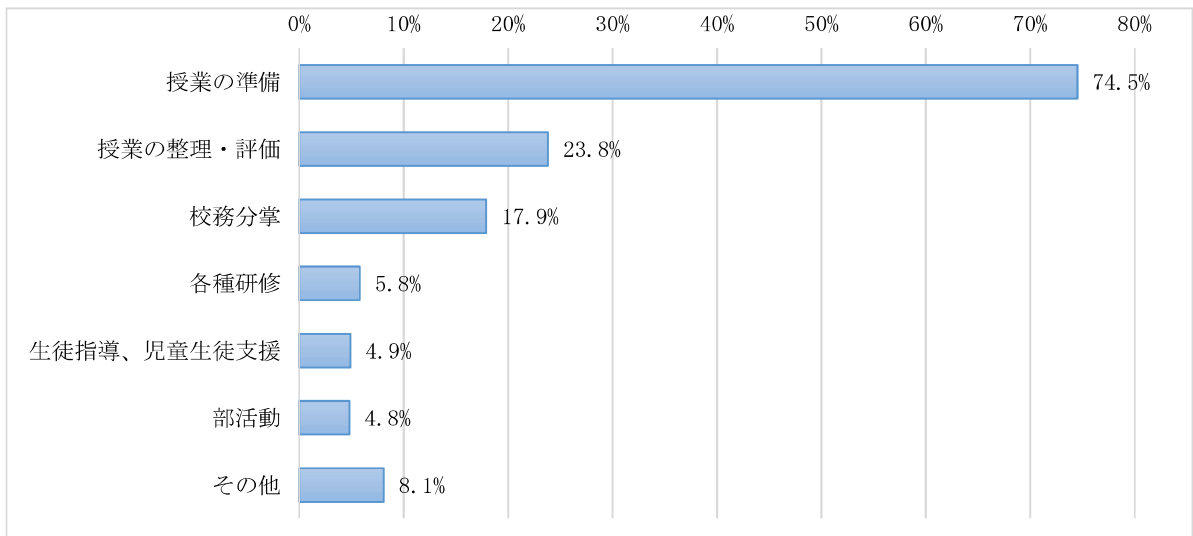


(3) 持ち帰り仕事を行った日数と時間

校 種	実施平均日数	1回あたりの平均実施時間		
		勤務日	週休日・休日	
小学校	3.7日	85.1分	67.1分	124.8分
中学校	3.2日	104.1分	91.3分	136.4分
高等学校	3.5日	76.5分	66.9分	98.9分
特別支援学校	3.2日	67.9分	58.3分	81.6分
全校種	3.4日	82.3分	69.9分	107.3分

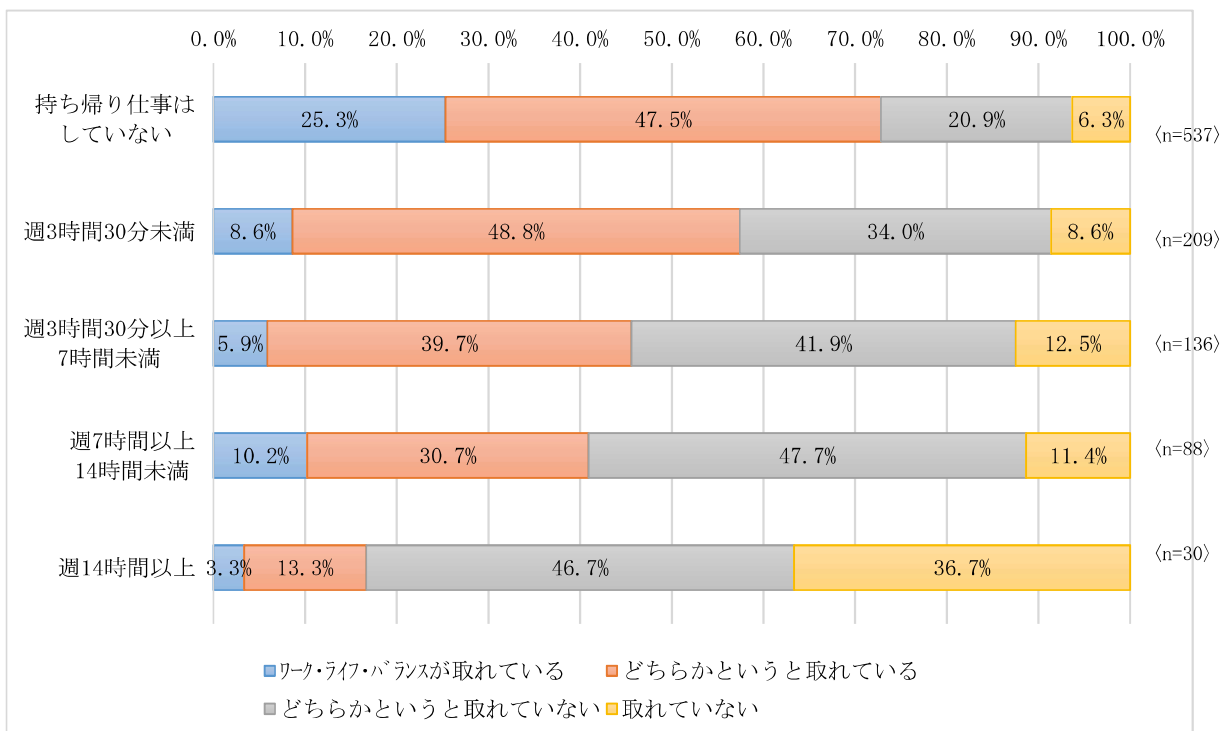


(4) 持ち帰り仕事の内容（全校種）

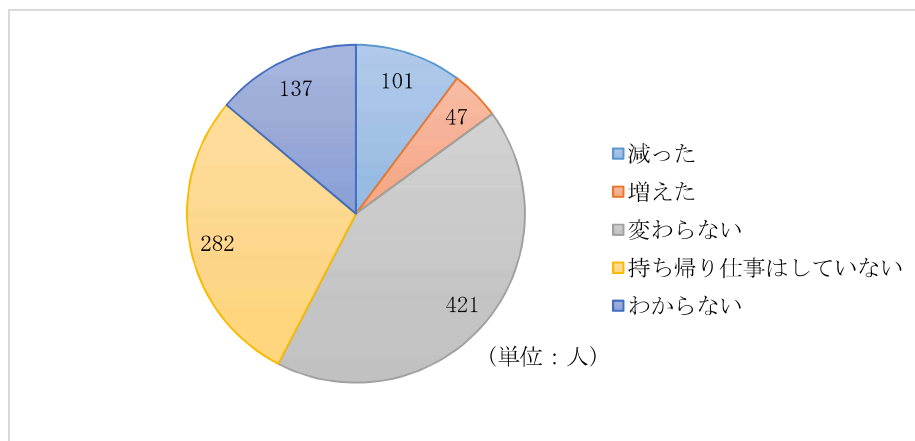


- ・ 持ち帰り仕事をした理由（複数回答）については、約8割が「勤務時間内には業務が終わらないため」をあげている。
- ・ 校種別でみると、小学校・特別支援学校では「放課後は会議や研修があるため」、中学校・高等学校では「放課後は部活動指導があるため」をあげた教職員が3割いた。
- ・ 「育児・介護等家庭の事情で勤務時間外に業務ができないため」「教材研究等はじっくりしたいため」を理由とした教職員はそれぞれ全校種で約2割であった。

(5) 持ち帰り仕事とワーク・ライフ・バランスとの関係



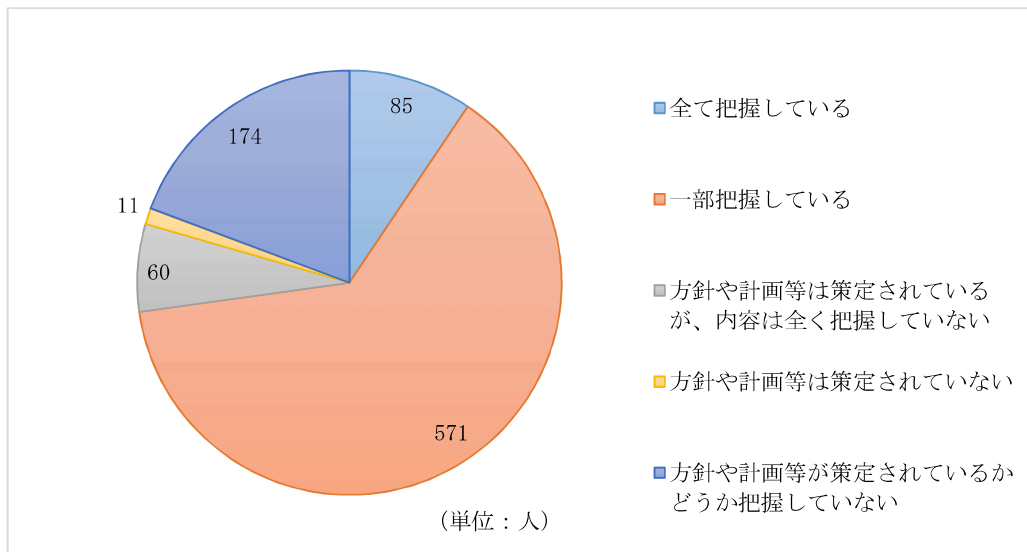
(6) 時間外勤務削減の取組が推進されることによる持ち帰り仕事の状況の変化



- 時間外勤務削減の取組を進めることにより、持ち帰りが増えたと回答したのは4.8%

6 学校での働き方改革の取組状況について

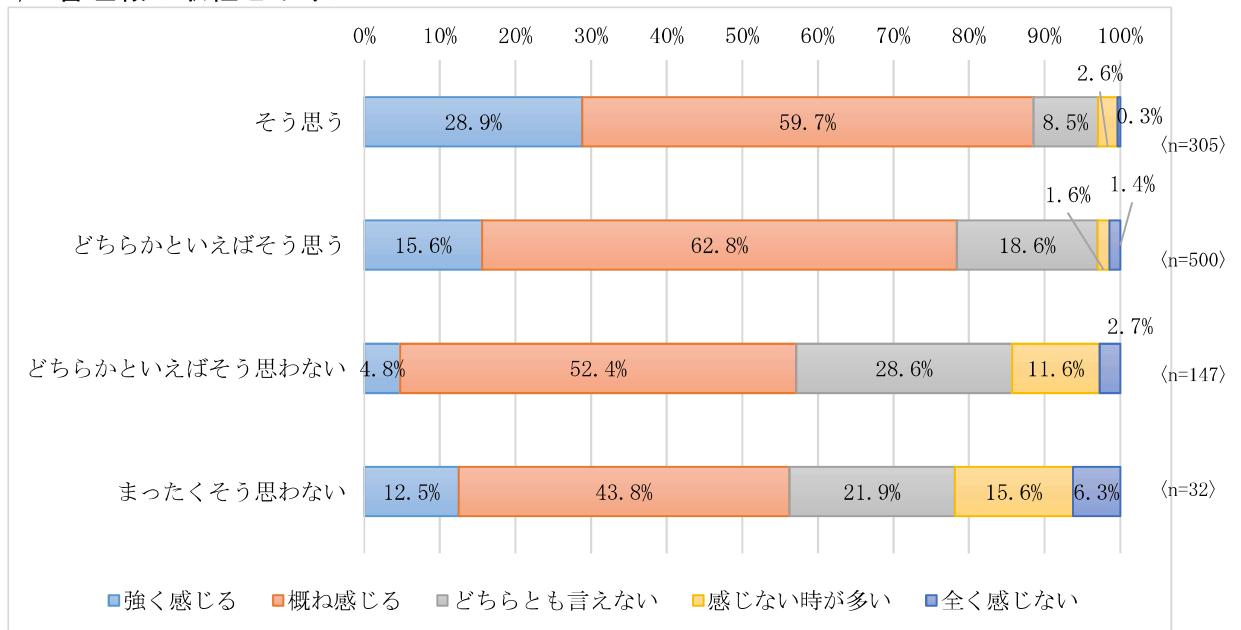
(1) 学校における計画等の内容の把握状況【校長、副校長・教頭を除く】



- 「所属する学校における時間外勤務の縮減や業務改善方針及び計画等の内容を把握しているか」という項目について、校長、教頭・副校長を除く約25%の教職員が、学校での取組について把握していない状況にある。

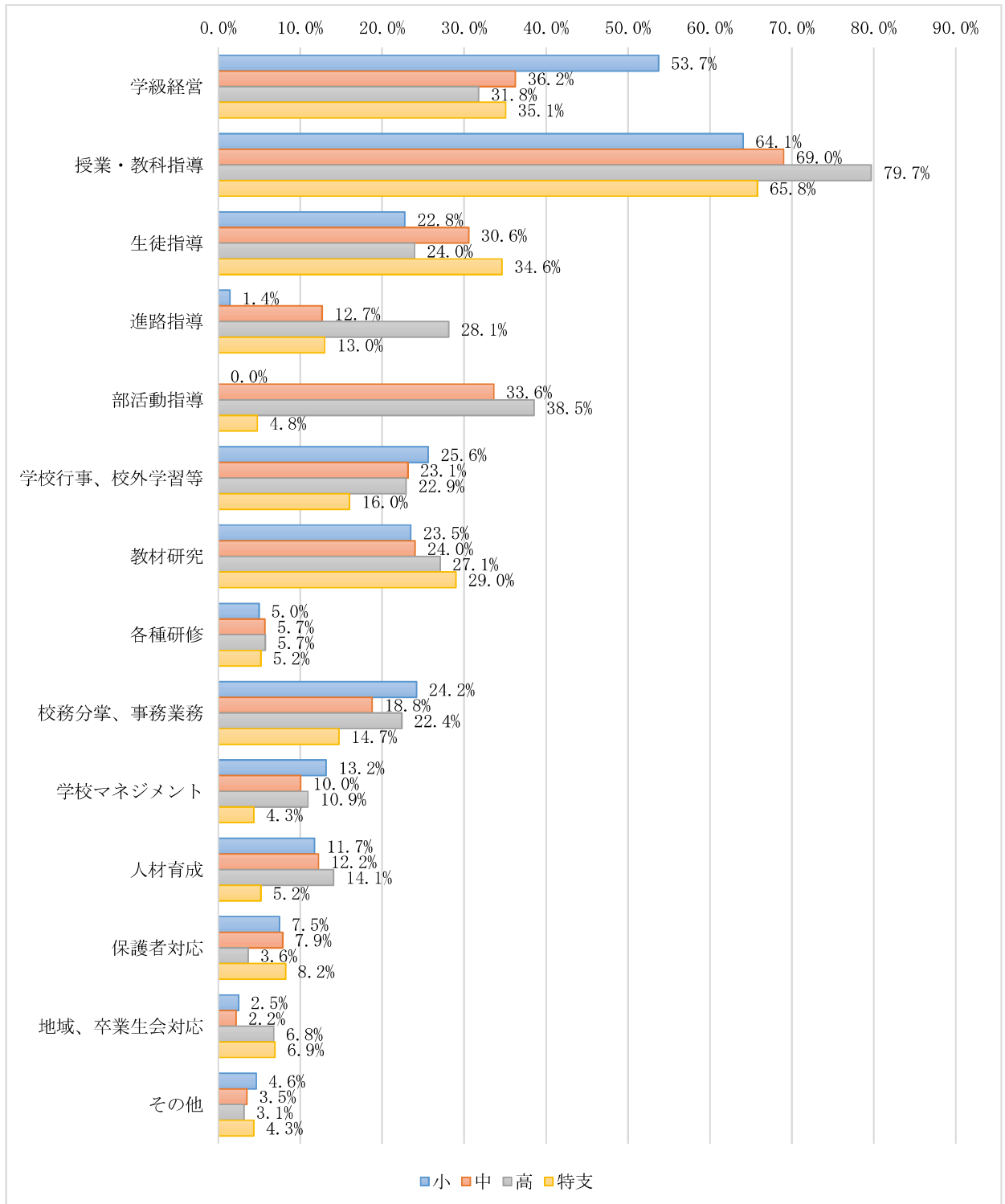
7 教職員の仕事のやりがい

(1) 管理職の取組とやりがい



- 「学校の管理職は、リーダーシップを発揮して業務改善に取り組むなど、働き方改革を進め、教職員の勤務環境を整えていると思うか」という項目について、「そう思う」と回答している教職員の方がやりがいを感じている割合が高くなる傾向にある。

(2) 校種別やりがいを感じる業務

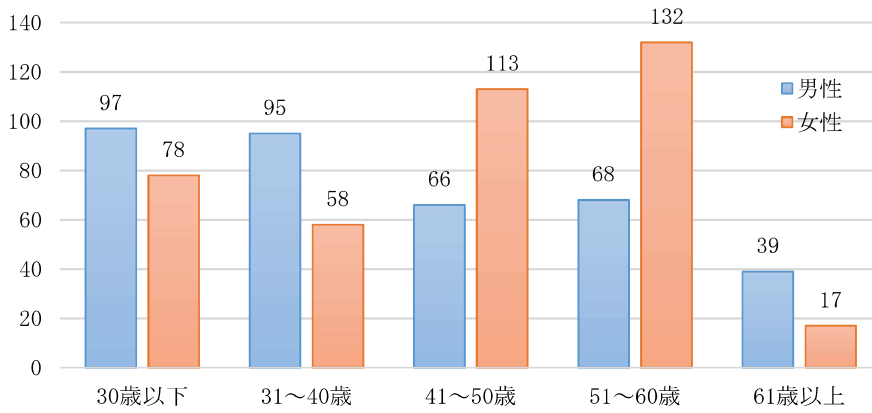


教職員の休憩時間及び持ち帰り仕事等の実態調査 補足資料

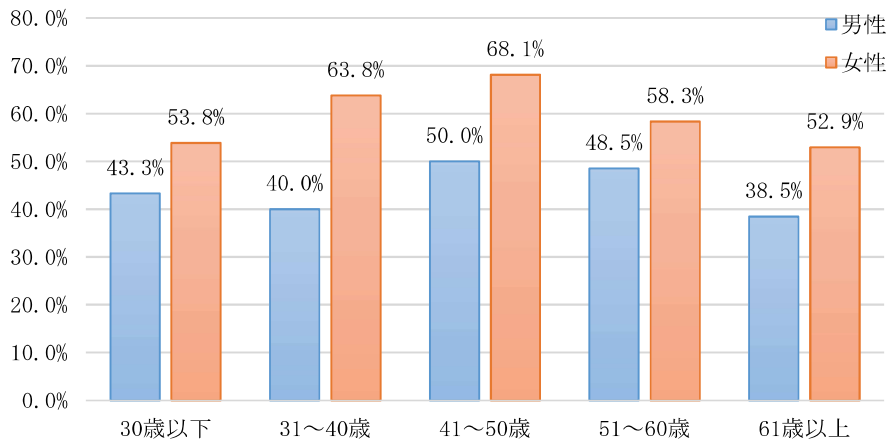
1	持ち帰り仕事の傾向	1
2	ワーク・ライフ・バランスに係る傾向	9
3	担任の有無による傾向	11
4	性別による傾向	13
5	学校における時間外勤務縮減などの取組	15

1 持ち帰り仕事の傾向

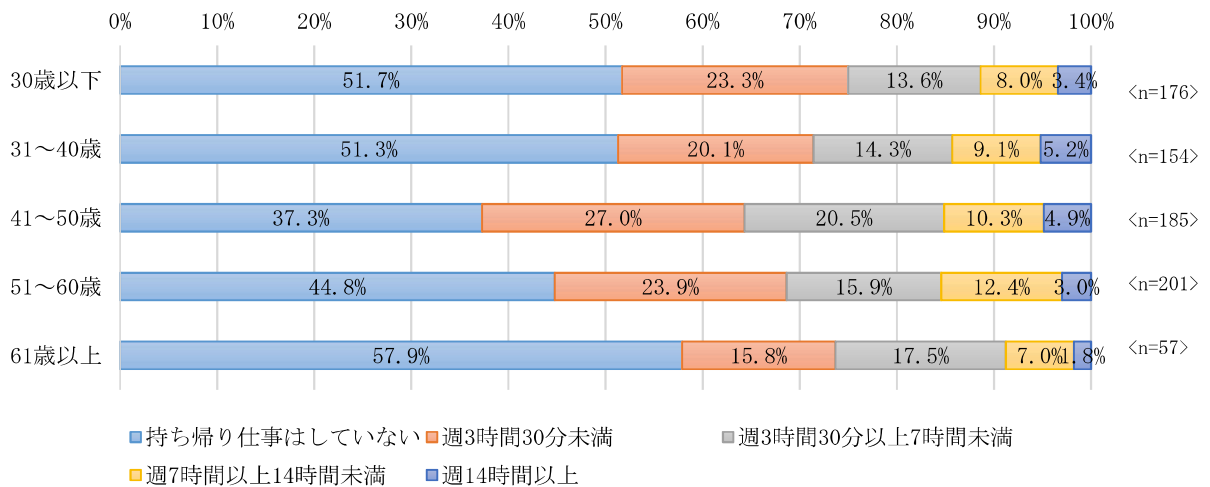
① 【調査対象】年齢別男女別人数【教諭・講師】



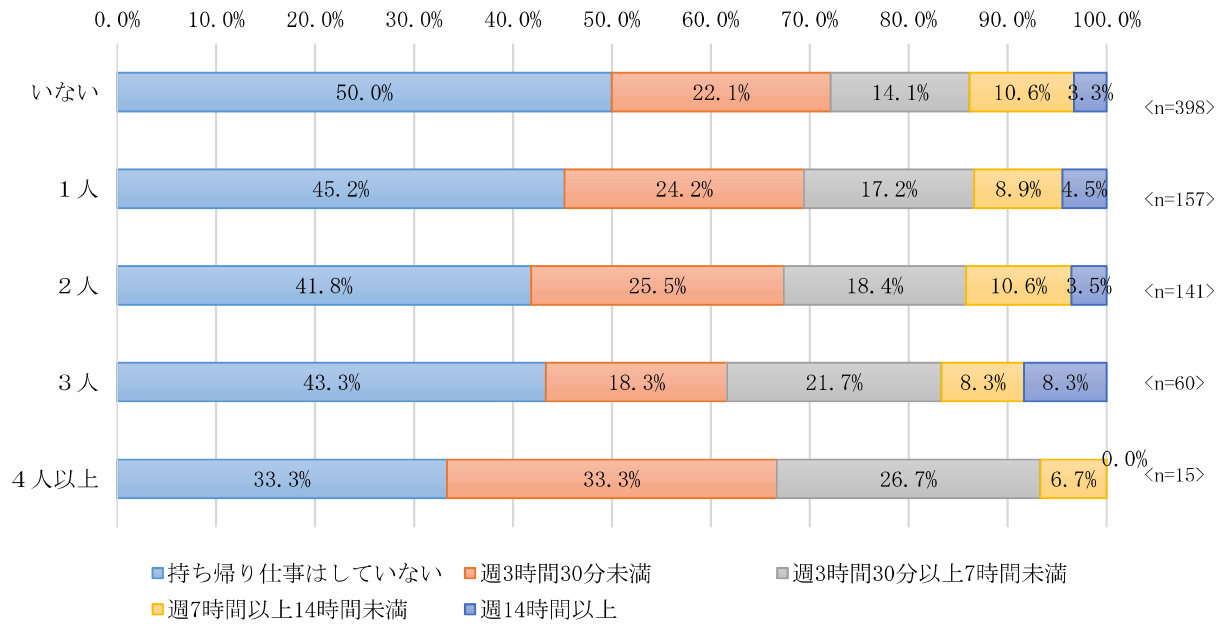
② 年代別男女別持ち帰り仕事を行った割合【教諭・講師】



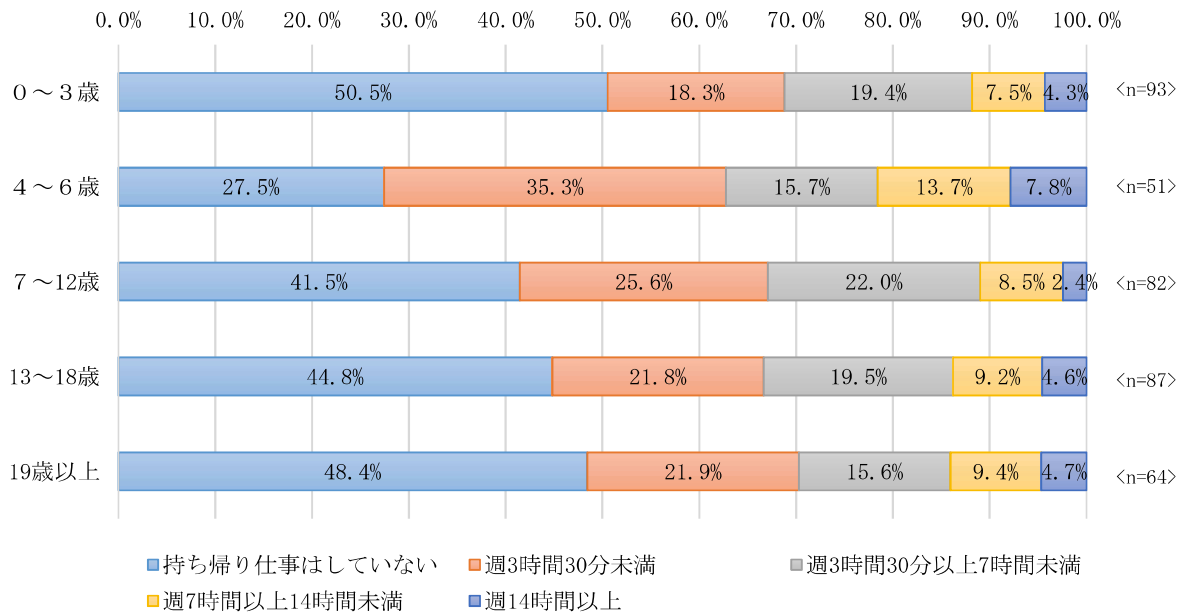
③ 年代別持ち帰り仕事の状況【教諭・講師】



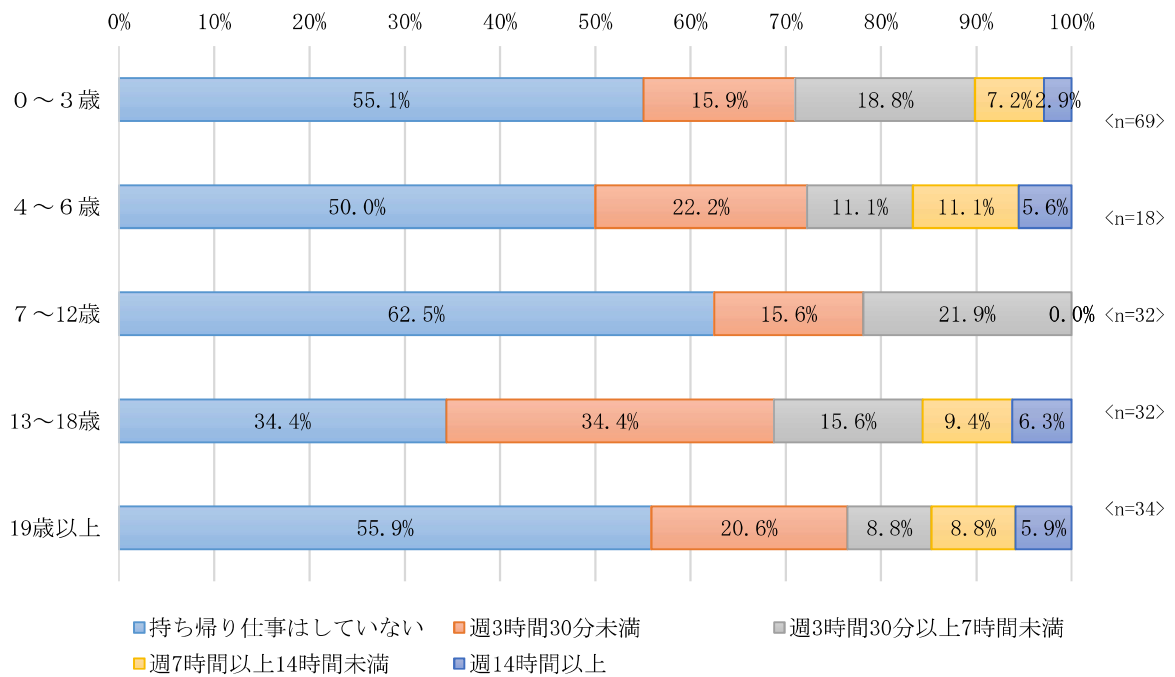
④ 子の人数別持ち帰り仕事の状況【教諭・講師】



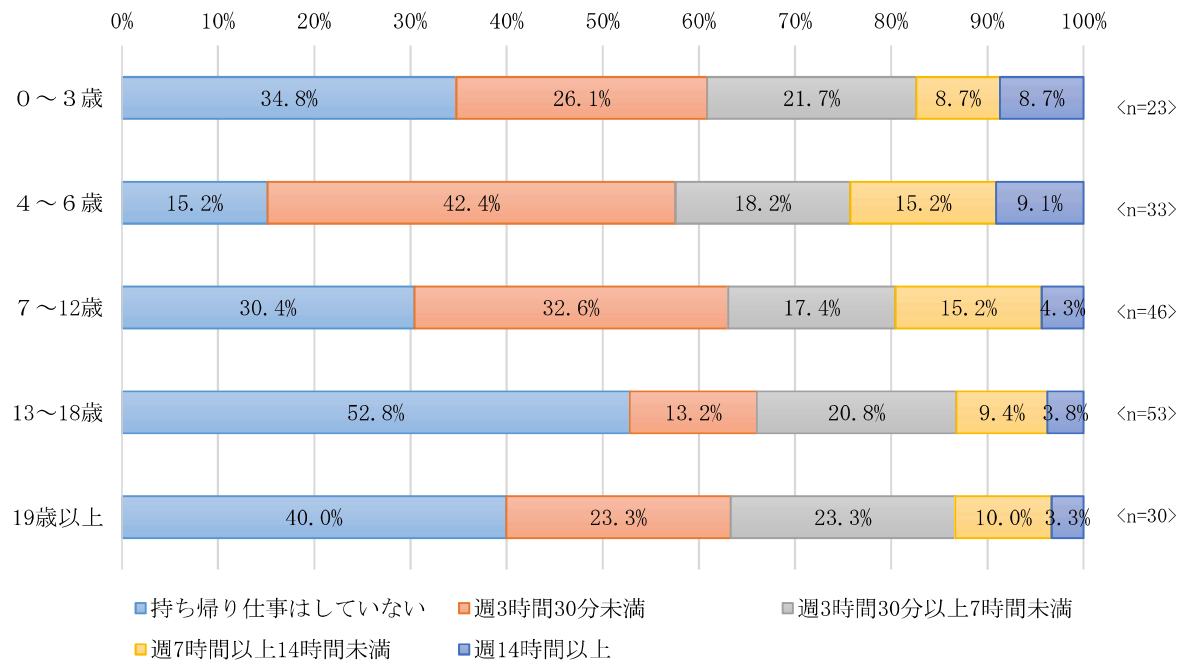
⑤ 下の子の年齢別持ち帰り仕事の状況【教諭・講師】



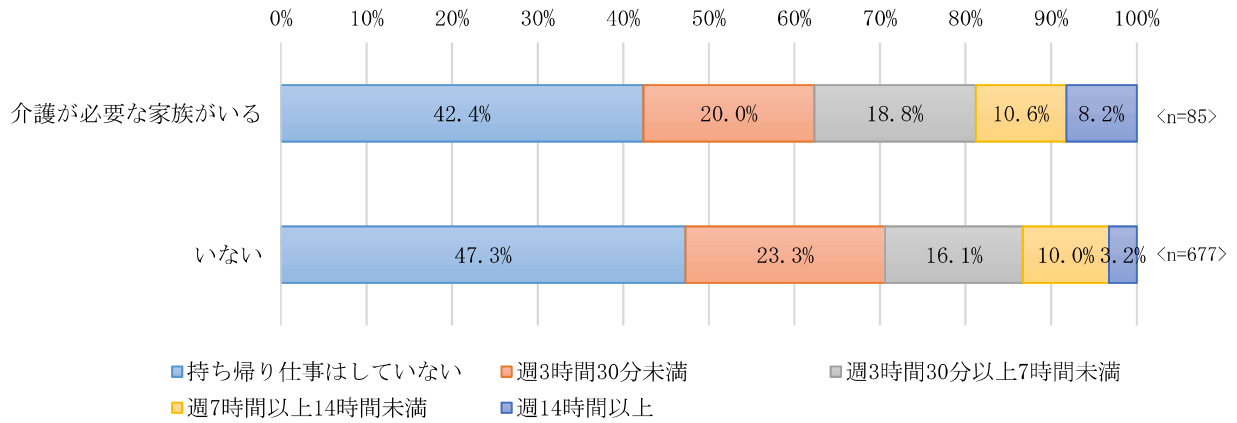
・ 男性【教諭・講師】



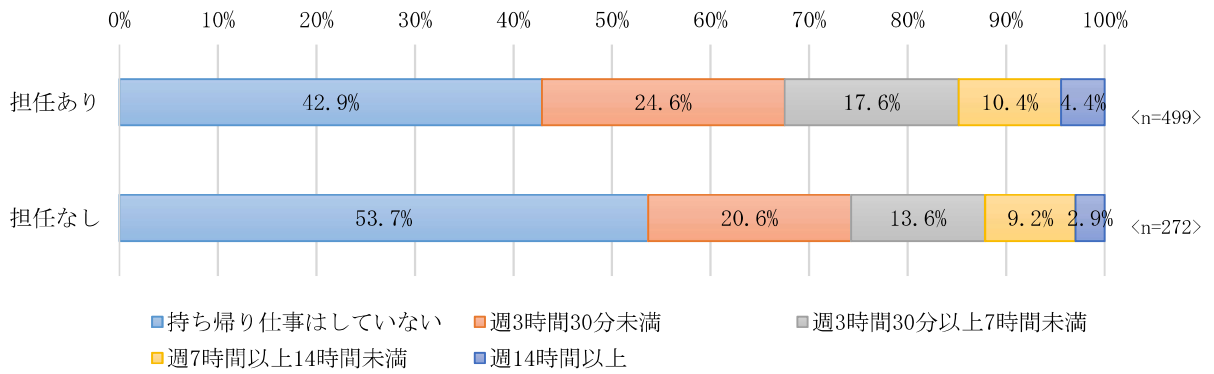
・ 女性【教諭・講師】



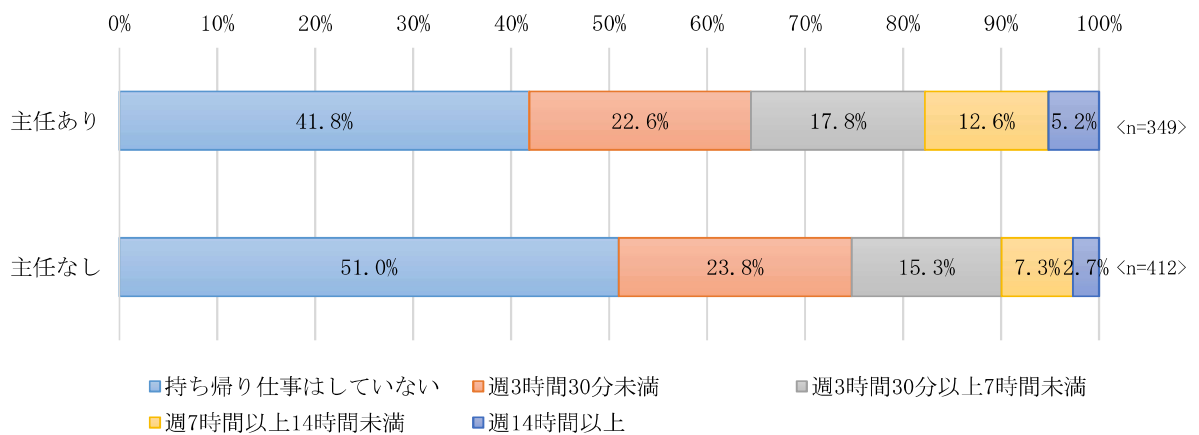
⑥ 介護の有無別持ち帰り仕事の状況【教諭・講師】



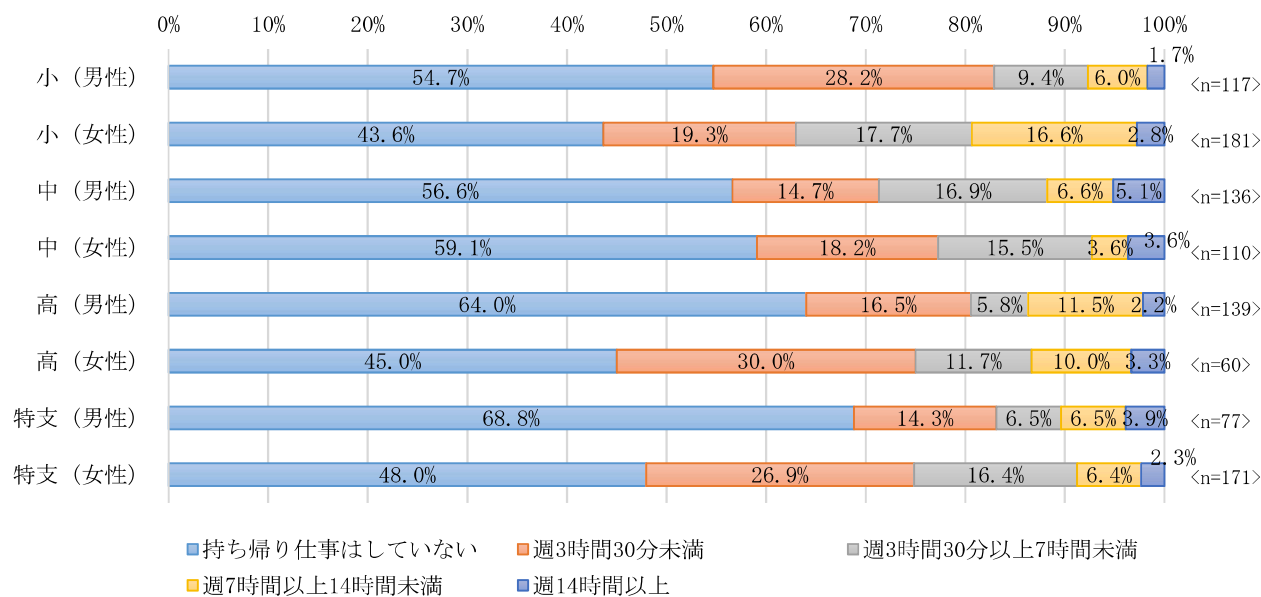
⑦ 学級担任の有無別持ち帰り仕事の状況【教諭・講師】



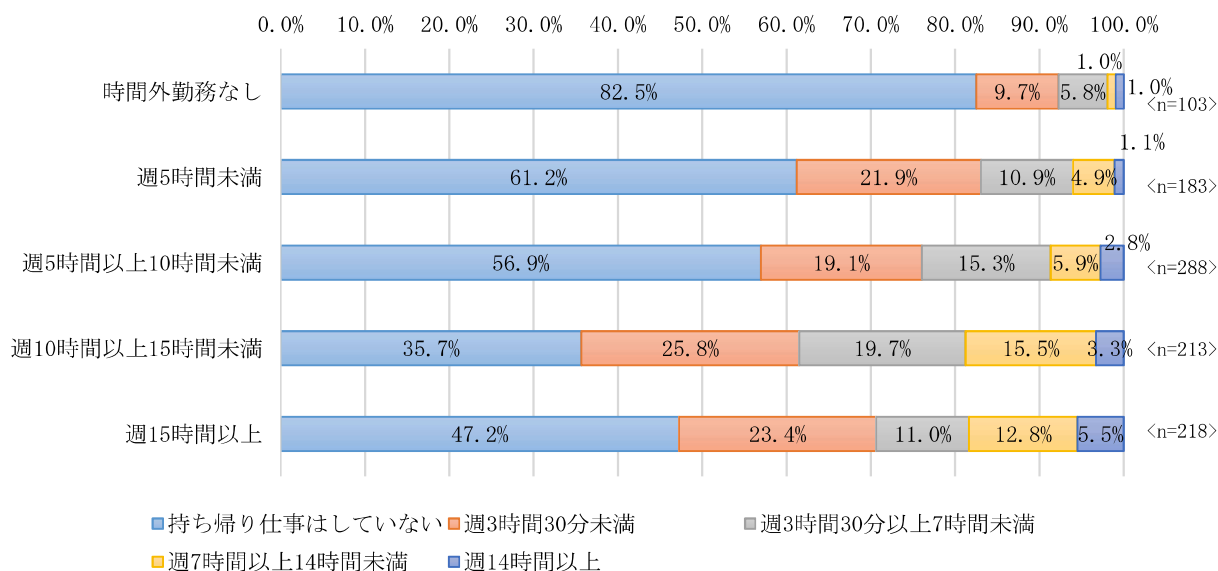
⑧ 主任の有無別持ち帰り仕事の状況【教諭・講師】



⑨ 校種・男女別持ち帰り仕事の状況

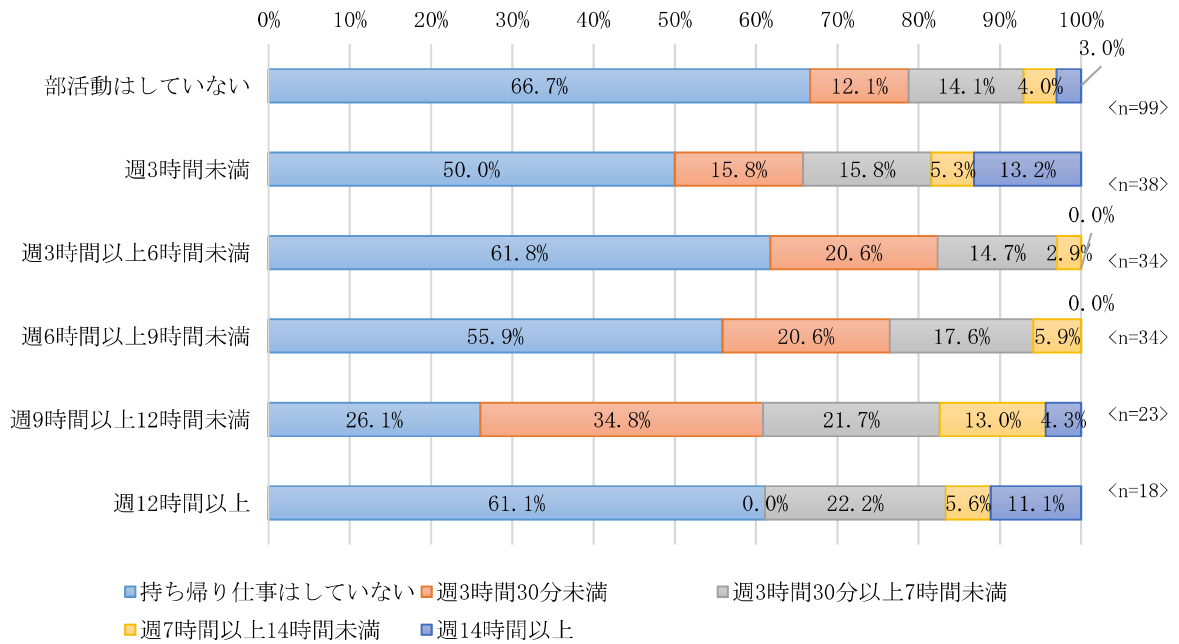


⑩ 時間外勤務時間と持ち帰り仕事の状況

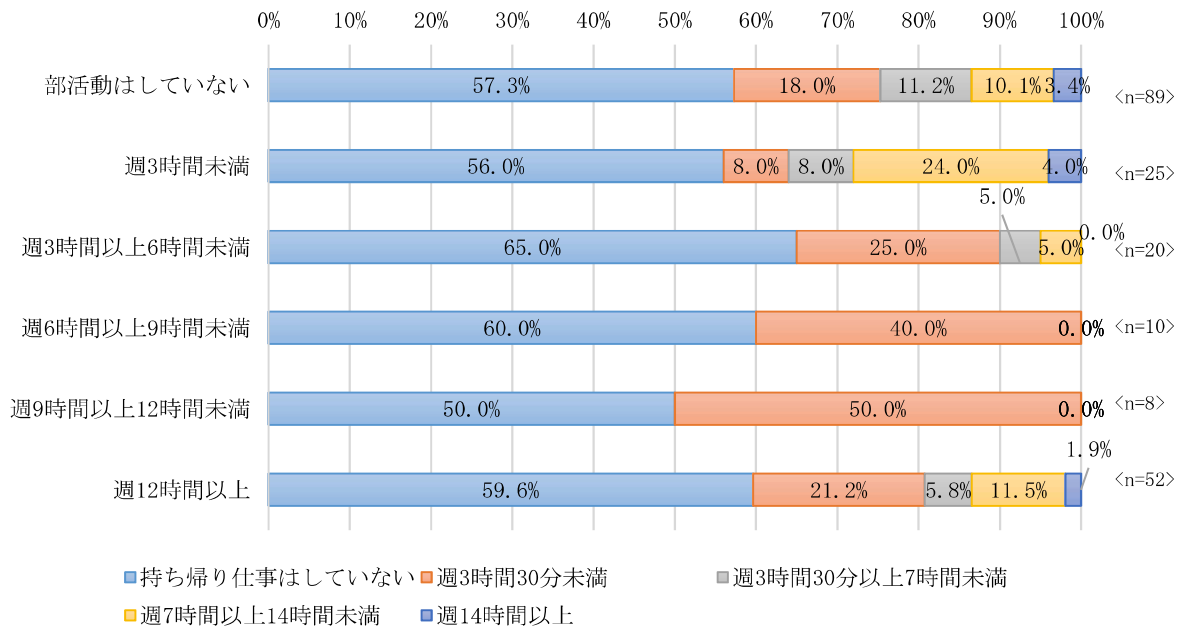


⑪ 部活動と持ち帰り仕事時間の状況

中学校

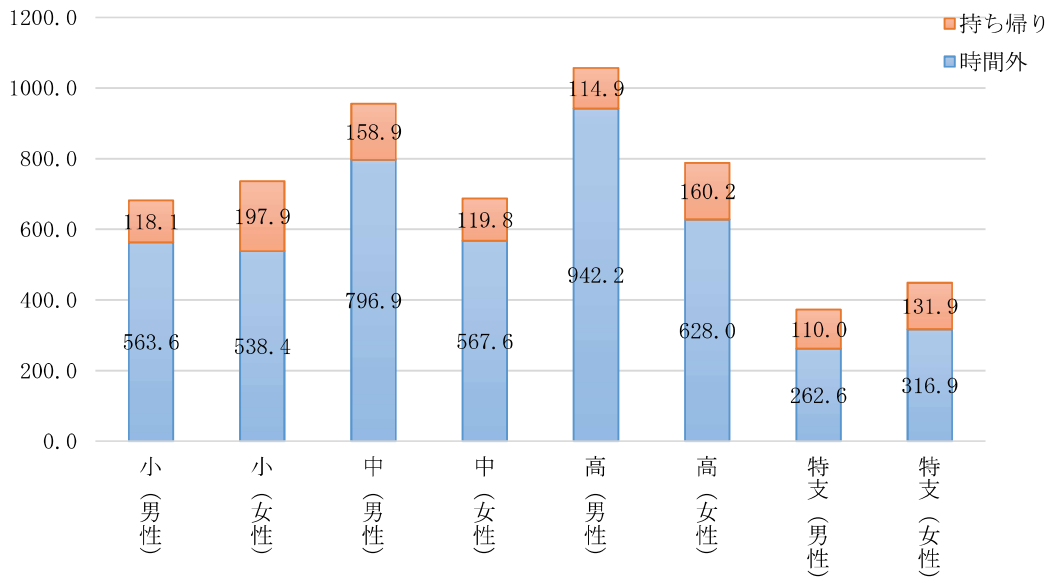


高校

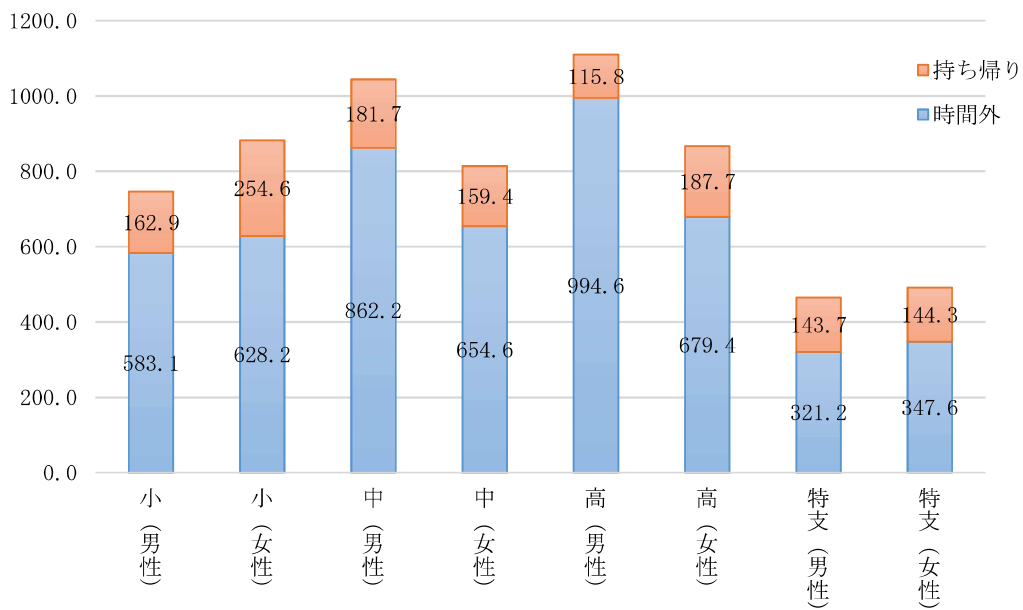


⑫ 校種・男女別時間外勤務時間と持ち帰り仕事時間

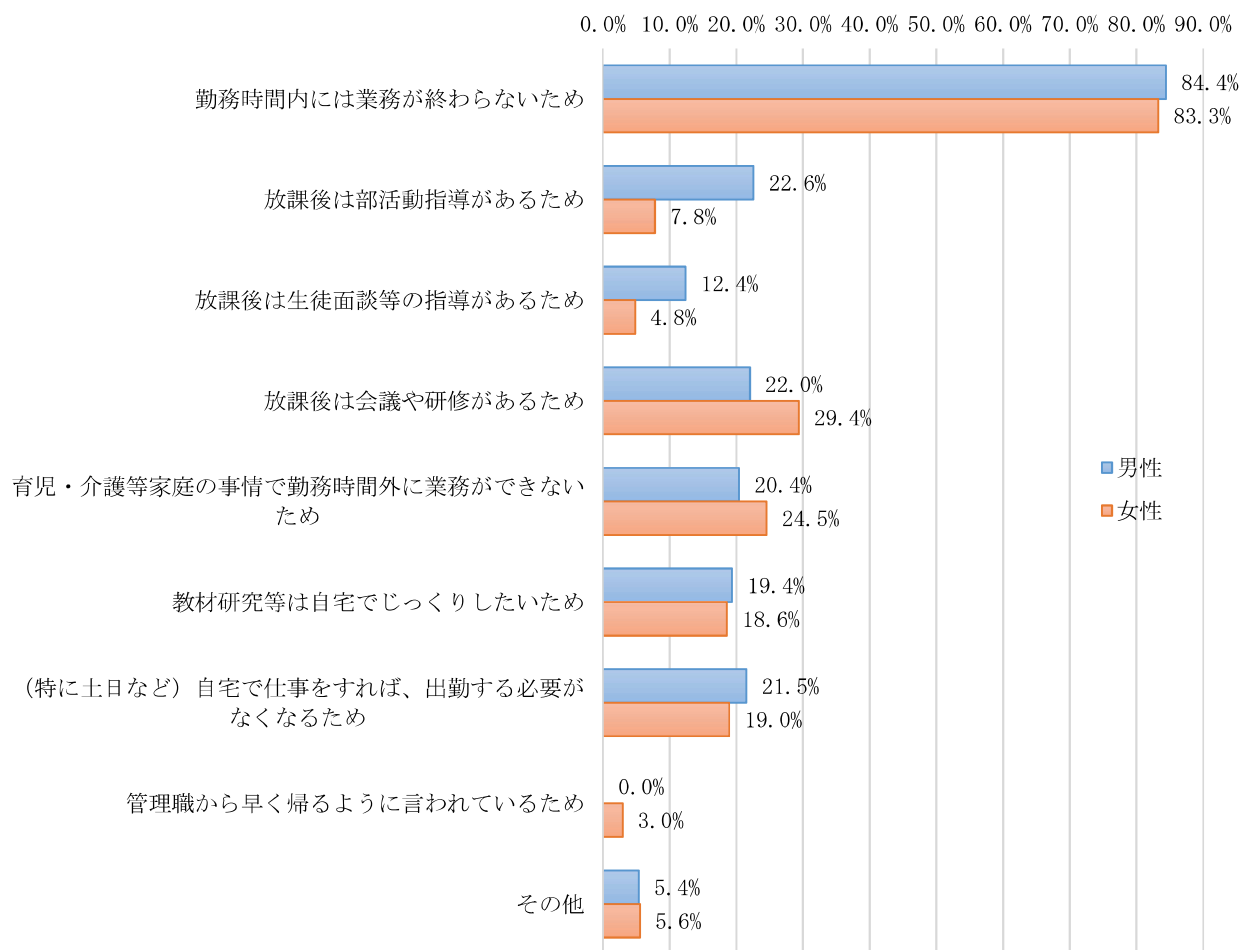
全職種（分／週）



教諭・講師（分／週）



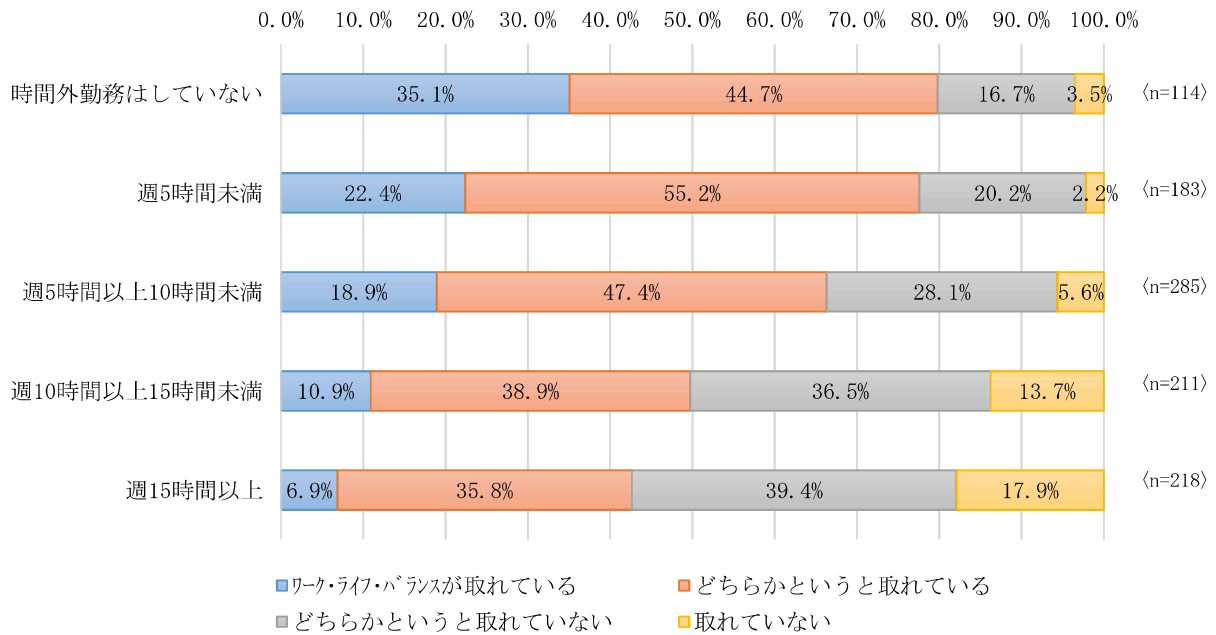
⑬ 男女別持ち帰り仕事を行う理由



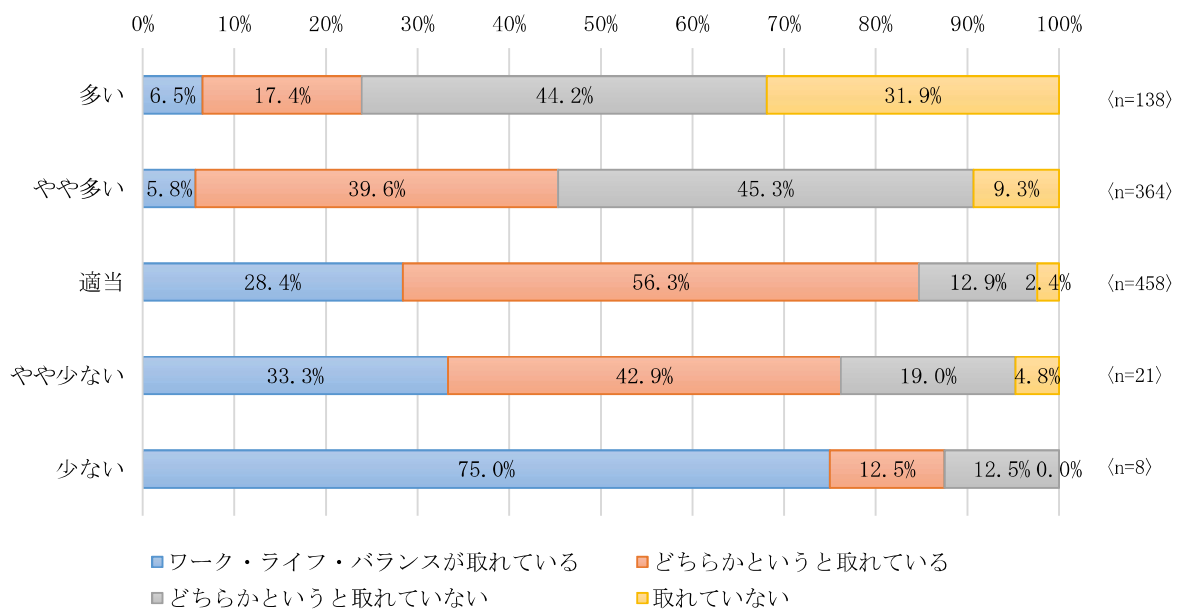
- ・ 持ち帰り仕事を一日でも行った場合に理由を回答（複数回答可・未回答有）
- ・ 8割以上が「勤務時間内に業務が終わらないため」を理由としている。

2 ワーク・ライフ・バランスに係る傾向

① 時間外勤務

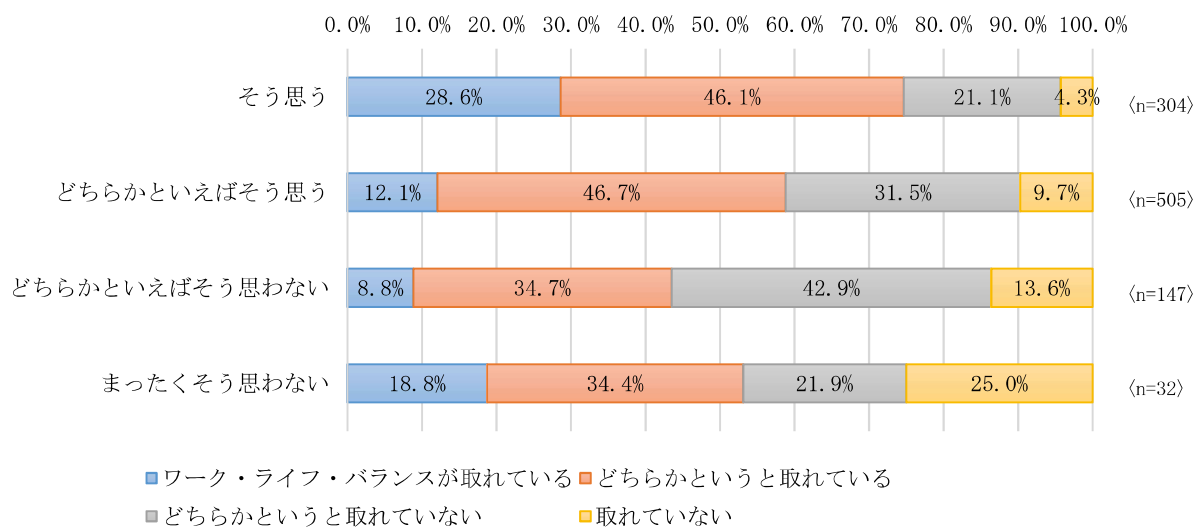


② 仕事量



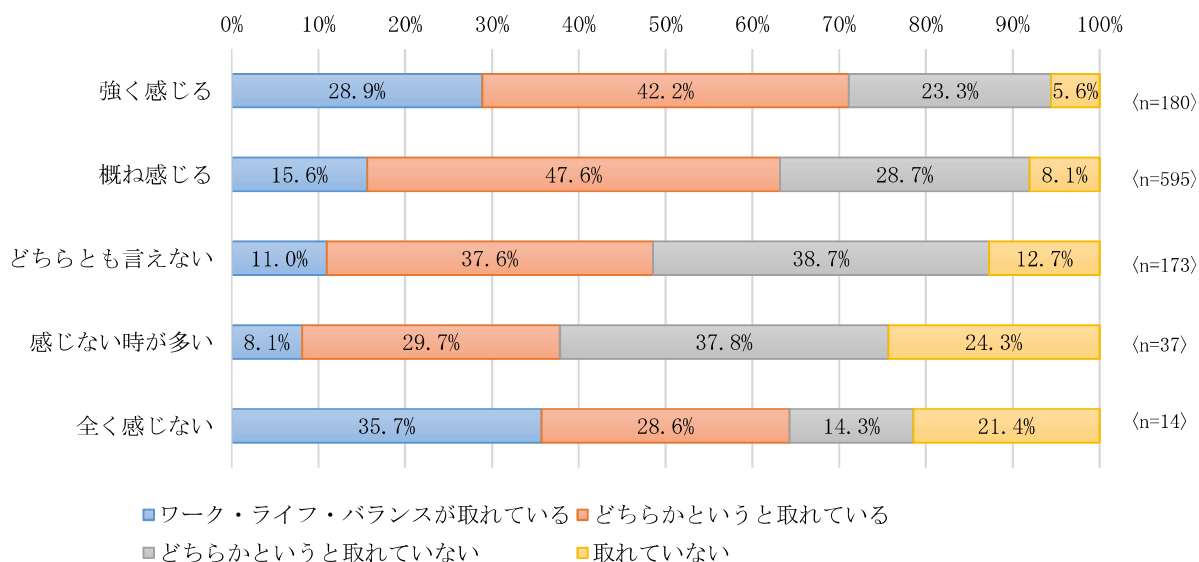
※ 仕事量…「現在、自分が担っている仕事量についてどう思うか」という問いに対して「多い」「やや多い」「適当」「やや少ない」「少ない」で回答

③ 管理職の取組



- 「学校の管理職は、リーダーシップを発揮して業務改善に取り組むなど、働き方改革を進め、教職員の勤務環境を整えていると思うか」という問いに対して「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「まったくそう思わない」で回答

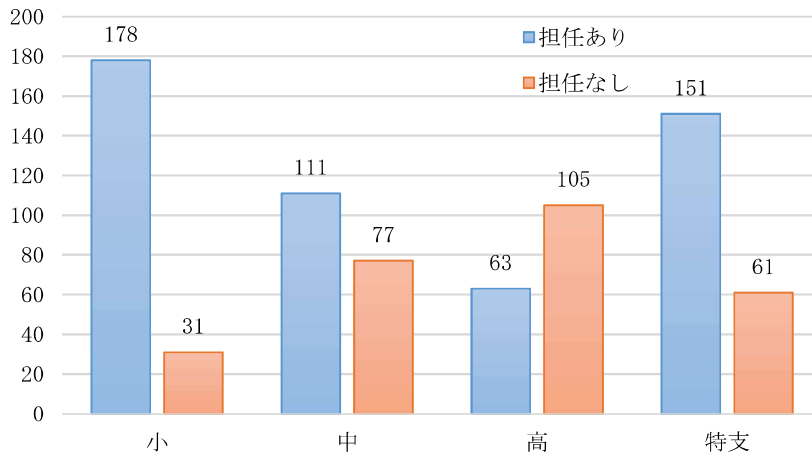
④ やりがい



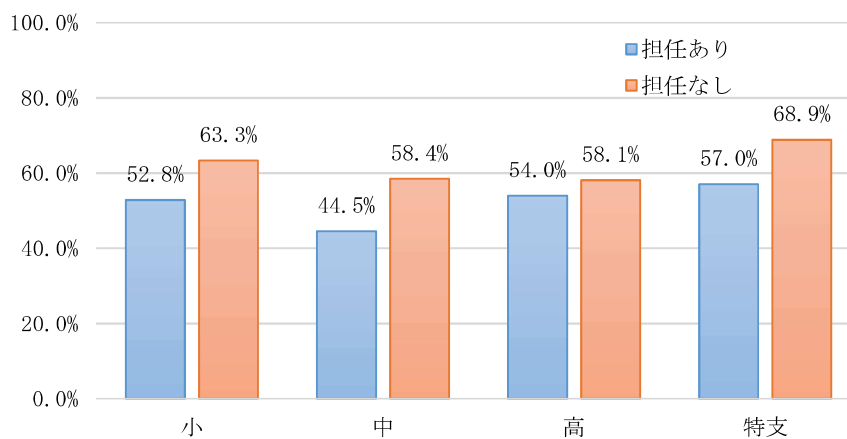
- やりがいを強く感じている職員の方がワーク・ライフ・バランスが取れていると感じている割合が高い。

3 担任の有無による傾向【教諭・講師】

① [調査対象] 校種別人数

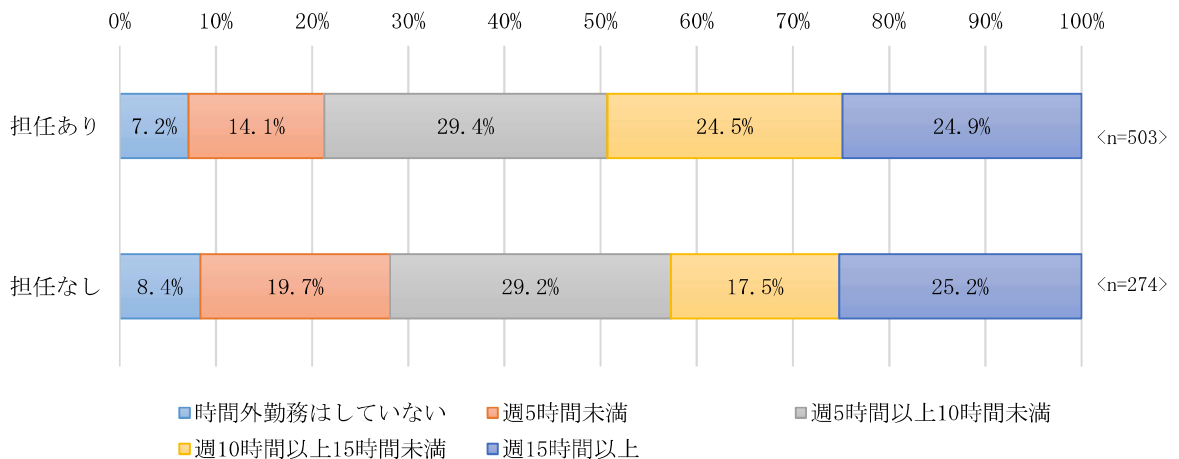


② 校種別ワーク・ライフ・バランスに係る意識（肯定的回答※）

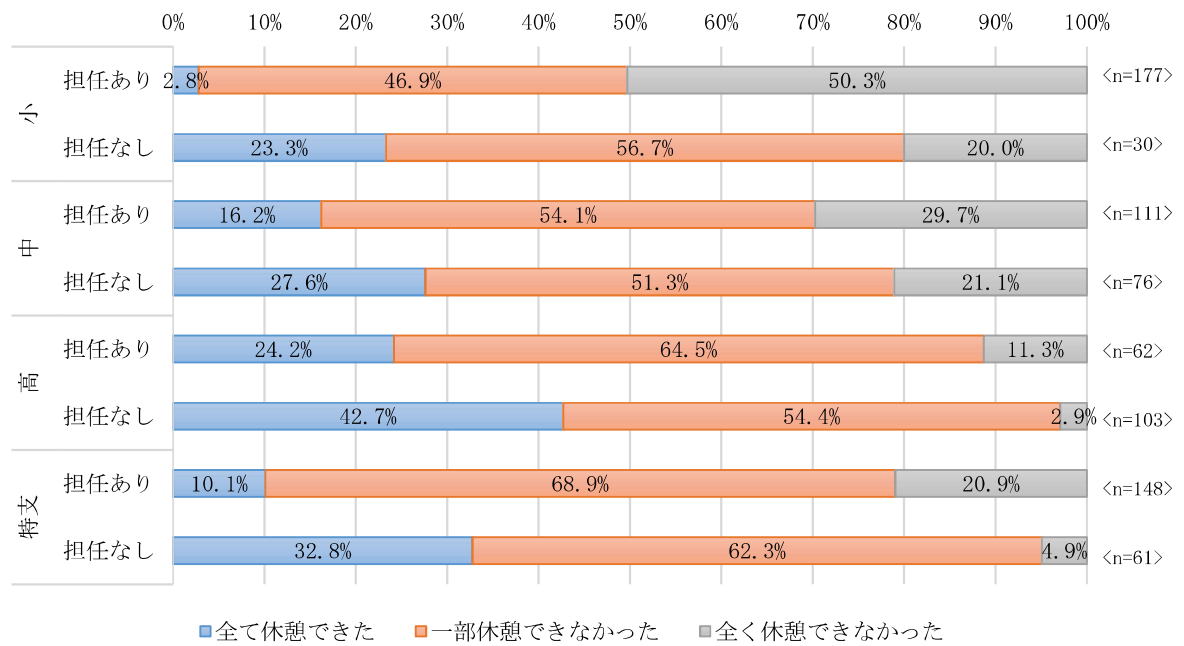


※ ワーク・ライフ・バランスが「取れている」又は「どちらかというを取れている」という回答を合わせた数

③ 時間外勤務の状況

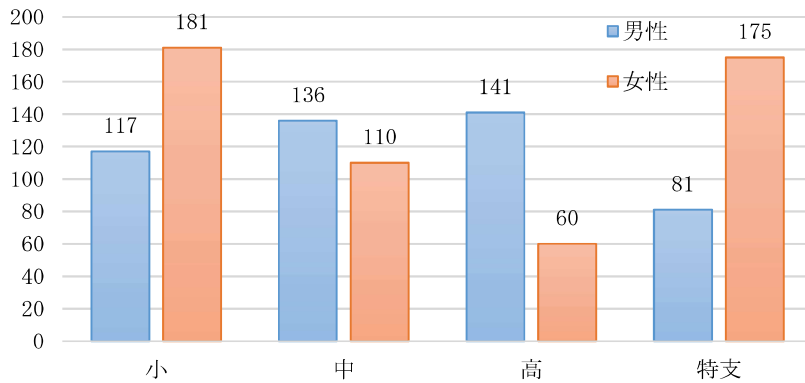


④ 校種別休憩時間の取得状況

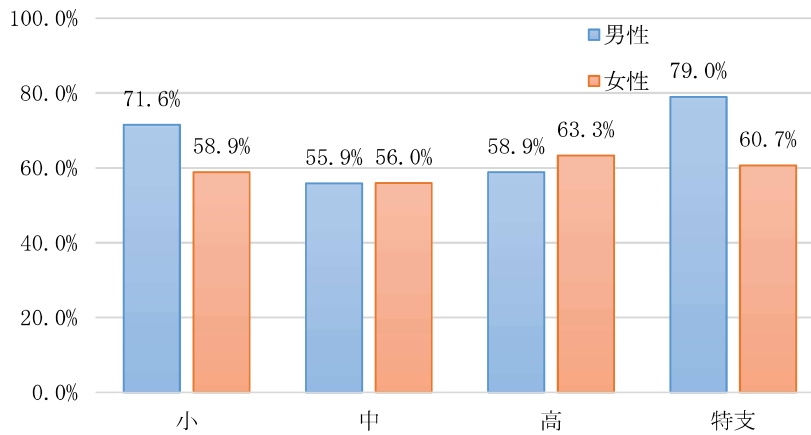


4 性別による傾向

① [調査対象] 校種別人数

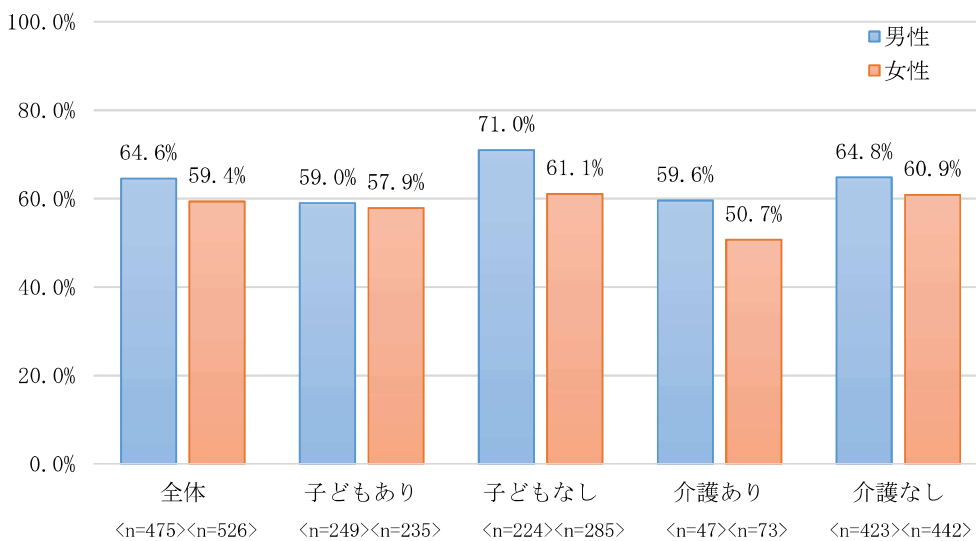


② 校種別ワーク・ライフ・バランスに係る意識（肯定的回答※）

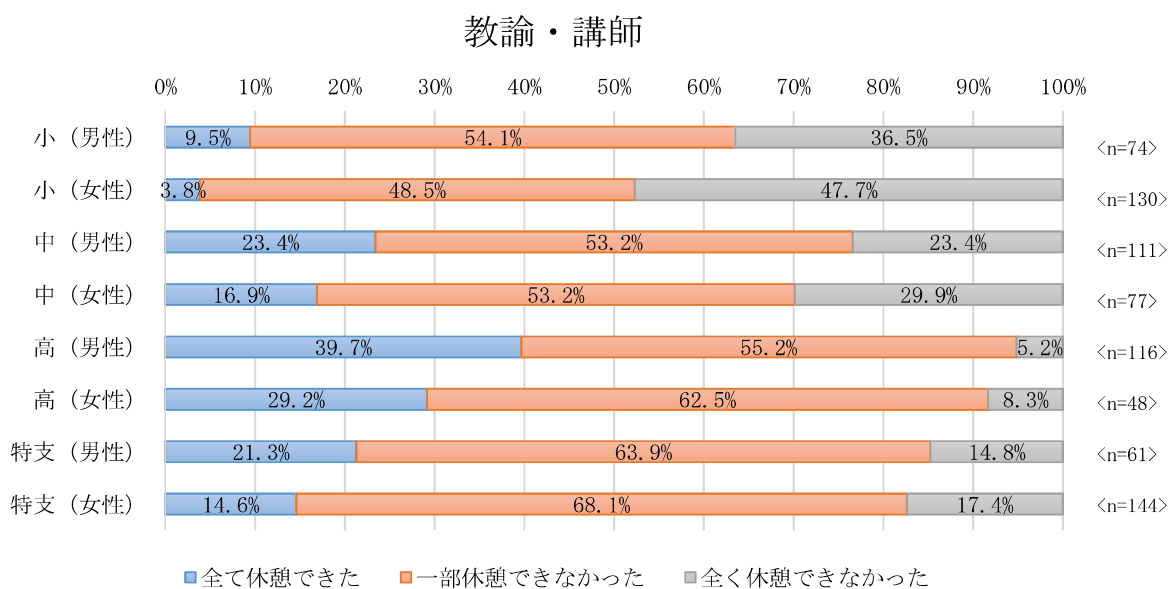
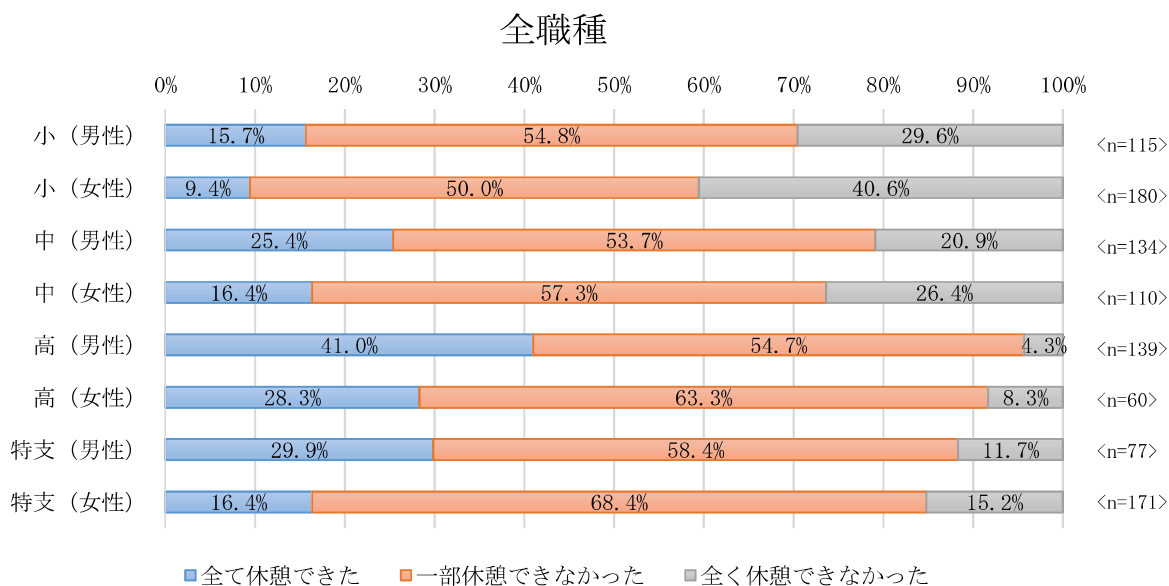


※ ワーク・ライフ・バランスが「取れている」又は「どちらかというを取れている」という回答を合わせた数

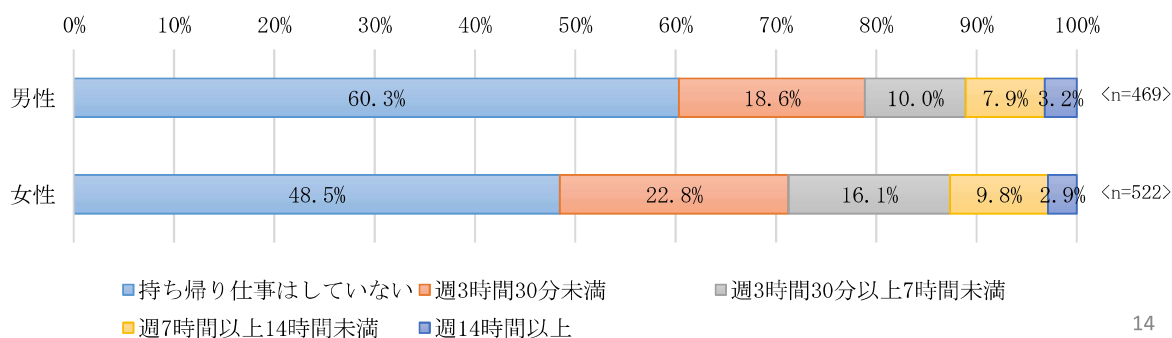
③ 子どもの有無別ワーク・ライフ・バランスに係る意識（肯定的回答※）



④ 校種別・男女別休憩時間の取得状況

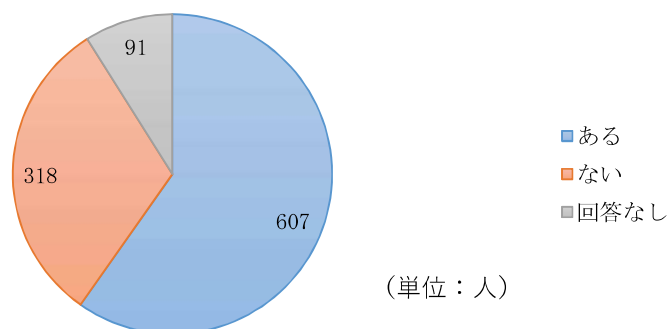


⑤ 持ち帰り仕事の状況



5 学校における時間外勤務縮減などの取組

① 学校の業務で、削減、または効率化できる業務の有無について



- ・ 約6割の職員が削減、効率化できる業務があると回答している。

② 削減、効率化できる業務項目

項目	小学校	中学校	高校	特支	全校種
授業、学習指導	8.5%	5.3%	10.4%	1.9%	6.5%
授業準備、片付け	3.0%	1.8%	1.4%	6.9%	3.3%
校務分掌	2.0%	1.2%	1.4%	1.3%	1.5%
試験作成・採点、成績処理	3.5%	6.4%	2.8%	0.6%	3.4%
試験・テスト監督等の対応	0.0%	0.6%	4.2%	0.0%	1.0%
生徒指導、進路指導	6.5%	5.8%	5.6%	0.0%	4.6%
教育委員会等からの調査	4.0%	3.5%	3.5%	0.6%	3.0%
朝終礼、会議、打合せ	10.1%	9.4%	10.4%	15.7%	11.3%
日直業務	1.5%	0.0%	0.7%	1.9%	1.0%
研修	2.0%	2.9%	2.1%	2.5%	2.4%
行事	25.6%	10.5%	11.8%	15.1%	16.3%
会計	3.5%	2.3%	5.6%	18.2%	7.1%
事務作業・軽作業(会計除く)	19.1%	17.5%	16.7%	32.7%	21.4%
部活動	0.0%	21.1%	16.7%	0.6%	9.1%
PTA関係	6.0%	8.8%	2.1%	1.3%	4.8%
保護者対応	1.5%	2.3%	3.5%	0.6%	1.9%
施設・設備整備	3.0%	0.6%	1.4%	0.0%	1.3%